

もち米をめぐる状況

令和5年10月

公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構(もち米事業部)

目次

（生産・検査）

1	もち米の生産	1
2	もち米の品種	2
3	もち米の検査（数量・等級）	3
4	もち米の検査（品種銘柄・主産地）	4

（集荷・流通）

5	主食用もち米の集荷	5
6	主食用もち米の契約栽培	6
7	主食用もち米の販売・購入	7
8	加工用もち米の生産・流通等	8

（加工原材料用）

9	加工原材料用米穀の使用況	9
10	米穀粉の生産	10
11	加工米飯の生産	11
12	米菓の生産	12
13	包装もちの生産	13

（消費）

14	もちの消費（年間購入量）	14
15	もちの消費（月別、地域別購入量）	15
16	せんべいの支出金額	16

（価格）

17	令和5年産主食用もち米概算金（生産者価格）	17
18	もち米の契約栽培基準価格等	18
19	もち米の市場取引価格	19
20	もち米等の小売価格	20

（輸入）

21	もち米の輸入・販売	21
22	米菓・米粉調製品	22

（輸出）

23	コメ・コメ加工品の輸出	23
24	米菓・パックご飯の輸出	24

（参考）

令和2米穀年度もち米等の生産・輸入・消費のイメージ	25
---------------------------	----

1 もち米の生産

- 水稻生産量が約730万トンに減少している中で、近年のもち米生産量は、その約4%の約30万トンで推移。
また、主食用うるち米価格が低迷した平成26年産以降一時生産量が増加する等、もち米の作付けは変動し易い。
- 水稻作付に占めるもち米の作付は、各道府県で総じて約1～2%であるが、佐賀(20%)北海道(9%)、熊本(8%)、秋田(6%)、新潟(5%)では比較的高い。

水稻もち米の生産量 (単位：万トン)

年産	水稻生産量 ①	うちもち米 ②		もち米比 率②/①	(参考) 主食用全銘柄年産 平均相対価格
			うち加工用米等		
平成25	860	31	3.0	3.6%	14,341
26	844	30	3.5	3.5%	11,967
27	799	33	4.9	4.1%	13,175
28	804	35	6.1	4.4%	14,307
29	782	33	6.6	4.2%	15,595
30	778	29	5.5	3.7%	15,688
令和元	776	28	5.1	3.7%	15,716
2	776	29	5.1	3.8%	14,529
3	756	31	7.0	4.1%	12,804
4	727	未公表	7.3	-	13,849

資料)農林水産省「米をめぐる参考資料」
注)加工用米等には、新規需要米(除く飼料用米。)を含んでいる。

(参考) 米の用途別・年産別面積の推移 (単位：万ha)

用途 年産	主食用米		備蓄米	加工用米	新規需要開発米						
		生産量 (万トン)				飼料用	WCS（稲発 酵粗飼料 稲）	米粉用	新市場開拓 用（輸出用 米等）	酒造用	その他
平成25	152.2	818	3.3	3.8	5.4	2.2	2.7	0.4	0.1	-	0.1
26	147.4	788	4.5	4.9	7.1	3.4	3.1	0.3	0.1	0.1	0.1
27	140.6	744	4.5	4.7	12.5	8.0	3.8	0.4	0.2	0.1	0.0
28	138.1	750	4.0	5.1	13.9	9.1	4.1	0.3	0.1	0.1	0.0
29	137.0	731	3.5	5.2	14.3	9.2	4.3	0.5	0.1	0.1	0.0
30	138.6	733	2.2	5.1	13.1	8.0	4.3	0.5	0.4	-	0.0
令和元	137.9	726	3.3	4.7	12.4	7.3	4.2	0.5	0.4	-	0.0
2	136.6	723	3.7	4.5	12.6	7.1	4.3	0.6	0.6	-	0.0
3	130.3	701	3.6	4.8	17.5	11.6	4.4	0.8	0.7	-	0.0
4	125.1	670	3.6	5.0	20.8	14.2	4.8	0.8	0.7	-	0.0
5	124.2	662	3.5	4.9	20.5	13.4	5.3	0.8	0.9	-	0.0

資料)農林水産省「米をめぐる参考資料」
注1)主食用米：統計部公表値。備蓄米：地域農業再生協議会が把握した面積。加工用米及び新規需要米：取組計画認定面積。
2)新規需要米の「酒造用」については、「需要に応じた生産・販売の推進に関する要領」に基づき生産量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。
3)ラウンドの関係で、新規需要米の合計と内訳は合わない場合がある。

令和4年産水稻の道府県別作付割合 (単位：%)

道府県	うるち米(醸造用 米、もち米を除く)	醸造用米	もち米
北海道	90.8	0.4	8.7
青森	98.4	0.6	1.0
岩手	95.8	0.2	4.0
宮城	97.4	0.2	2.4
秋田	93.2	0.8	6.0
山形	96.8	0.7	2.5
福島	97.4	0.6	2.0
茨城	97.1	0.1	2.7
栃木	98.2	0.7	1.1
群馬	98.2	0.1	1.7
埼玉	99.4	0.1	0.4
千葉	95.9	0.1	4.1
神奈川	96.0	—	4.0
新潟	92.6	2.0	5.4
富山	95.0	2.0	3.0
石川	96.2	0.8	3.0
福井	96.4	1.8	1.8
山梨	96.5	1.6	1.8
長野	96.5	1.9	1.6
岐阜	95.1	0.9	4.1
静岡	95.4	1.2	3.4
愛知	98.8	0.3	0.9
三重	97.9	0.6	1.5
滋賀	96.4	1.0	2.7
京都	96.9	1.0	2.0
大阪	98.4	0.0	1.6
兵庫	85.2	13.2	1.6
奈良	98.2	1.1	0.7
和歌山	98.4	0.1	1.5
鳥取	96.7	1.2	2.1
島根	95.9	1.0	3.0
岡山	93.5	4.0	2.5
広島	94.6	2.4	3.0
山口	94.5	3.3	2.2
徳島	97.2	0.6	2.1
香川	97.2	1.1	1.7
愛媛	98.3	0.2	1.5
高知	97.5	0.8	1.6
福岡	96.9	1.1	2.0
佐賀	79.8	0.5	19.7
長崎	98.5	0.2	1.3
熊本	92.3	0.2	7.5
大分	98.5	0.2	1.3
宮崎	98.7	0.1	1.2
鹿児島	98.3	0.0	1.7
沖縄	98.0	0.0	2.0
全国計	95.2	1.2	3.6

資料)当機構情報部「令和4年産水稻の品種別作付動向について」
注1)道府県別作付割合は道府県行政等から情報提供いただいた数値を用いて推計した。
2)ラウンドの関係で全国計と内訳が一致しない場合がある。

2 もち米の品種

- もち米主産地の作付品種は、北海道では「風の子もち、はくちょうもち、きたゆきもち」で約98%、秋田では「たつこもち、きぬのはだ」で約90%、新潟では「こがねもち、わたぼうし」で約90%、佐賀や熊本では「ヒヨクモチ」で約90%と、もち米は、栽培地域の気候やもち米製品の適性等を踏まえた様々な品種が作付け。
- また、広域的に作付けされている品種としては、福岡、佐賀、熊本等の「ヒヨクモチ」、岩手、山形、千葉等の「ヒメノモチ」がある一方で、地域限定的な北海道の「風の子もち」、秋田の「たつこもち」、滋賀の「滋賀羽二重糯」等がある。

令和4年産もち米の道府県別作付上位品種 (単位：%)

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	作付順位 (道府県のもち米作付面積に占める割合)						
		1位		2位		3位		合計
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
北海道	16.8	風の子もち	42.7	はくちょうもち	31.5	きたゆきもち	24.2	98.4
青森	0.8	あかりもち	70.8	アネコモチ	29.0			99.7
岩手	3.8	ヒメノモチ	82.3	こがねもち	11.4	もち美人	4.1	97.8
宮城	3.0	みやこがねもち	97.9					97.9
秋田	10.1	たつこもち	63.0	きぬのはだ	26.1			89.1
山形	3.2	ヒメノモチ	72.0	でわのもち	11.7	こゆきもち	8.7	92.4
福島	2.4	こがねもち	68.4	ヒメノモチ	31.6			100.0
茨城	3.4	マンゲツモチ	93.7	ヒメノモチ	4.5	ココノエモチ	1.8	100.0
栃木	1.2	きぬはなもち	84.7					84.7
群馬	0.5	群馬糯5号	60.1	まんぷくもち	9.7	マンゲツモチ	9.2	79.0
埼玉	0.2	峰の雪もち	50.0					50.0
千葉	4.0	ヒメノモチ	68.3	ふさのもち	14.6	マンゲツモチ	12.2	95.1
神奈川	0.2	喜寿糯他	100.0					100.0
新潟	12.9	こがねもち	51.9	わたぼうし	40.4			92.3
富山	2.2	新大正糯	62.6	とみちから	23.5	らいちょうもち	4.6	90.7
石川	1.4	カグラモチ	38.7	白山もち	28.6	石川糯24号	16.4	83.6
福井	0.9	カグラモチ	50.0	タンチョウモチ	50.0			100.0
山梨	0.2	こがねもち	24.4	朝紫	23.3	マンゲツモチ	19.8	67.4
長野	1.0	もちひかり	54.3	モリモリモチ	19.4	オラガモチ	4.3	78.1
岐阜	1.7	たかやまもち	77.9	モチミノリ	17.6	ココノエモチ	4.5	100.0
静岡	1.0	葵美人	41.1	峰の雪もち	40.5	ヒヨクモチ	18.4	100.0
愛知	0.5	十五夜糯	17.4	ココノエモチ	8.7	こはるもち	8.7	34.8
三重	0.8	あゆみもち	49.7	カグラモチ	23.4	喜寿糯	12.4	85.5

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	作付順位 (道府県のもち米作付面積に占める割合)						
		1位		2位		3位		合計
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
滋賀	1.6	滋賀羽二重糯	87.6					87.6
京都	0.6	新羽二重糯	95.0	カグラモチ	5.0	(3位以下の品種はうるち米に含まれる。)		100.0
大阪	0.1	モチミノリ	100.0					100.0
兵庫	1.1	はりまもち	33.7	ヤマフクモチ	26.0	マンゲツモチ	16.8	76.5
奈良	0.1	旭糯	40.4	ココノエモチ	28.2			68.6
和歌山	0.2	モチミノリ	85.6					85.6
鳥取	0.5	ヒメノモチ	43.7	ハクトモチ	37.0	鈴原糯	3.5	84.3
島根	1.0	ヒメノモチ	39.3	ミコトモチ	25.0	ココノエモチ	17.9	82.1
岡山	1.4	ヒメノモチ	56.0	ココノエモチ	24.0	ヤシロモチ	8.0	88.0
広島	1.3	ヒメノモチ	53.7	ココノエモチ	38.7	タンチョウモチ	6.8	99.2
山口	0.8	ミヤタマモチ	52.0	マンゲツモチ	26.2	ヒヨクモチ	11.5	89.7
徳島	0.4	モチミノリ	65.2					65.2
香川	0.4	クレナイモチ	100.0					100.0
愛媛	0.4	モチミノリ	50.8	クレナイモチ	49.2			100.0
高知	0.4	たまひめもち	17.8	サイワイモチ	15.5	ヒデコモチ	9.3	42.5
福岡	1.4	ヒヨクモチ	100.0	(2位以下の品種はうるち米に含まれる。)				100.0
佐賀	9.2	ヒヨクモチ	99.1	ヒデコモチ	0.7			99.8
長崎	0.3	ヒヨクモチ	18.2	モチミノリ	17.9	サイワイモチ	10.4	46.4
熊本	4.8	ヒヨクモチ	86.9	峰の雪もち	5.3			92.2
大分	0.5	ヒヨクモチ	38.0	ハクトモチ	10.5	ひみこもち	1.3	49.7
宮崎	0.4	クスタマモチ	42.0	いわともち	19.1	ヒヨクモチ	14.6	75.8
鹿児島	0.6	さつま絹もち	45.8	さつま雪もち	26.5	峰の雪もち	9.8	82.0
沖縄	0.0	ゆがふもち	4.9	ウルマモチ	4.8			9.7
合計	100.0							

資料) 当機構情報部「令和4年産水稻の品種別作付動向について」

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 もち米の検査(数量、等級)

○ 近年のもち米の検査数量は、約20万トンでうるち米を含む米穀の約4%で、検査等級別には、地域、気象条件により差異はあるが、全国平均で50～60%が1等。

米穀の農産物検査結果 (単位:千トン)

	うるち玄米		もち玄米①				合 計②	
	水稻	醸造用	水稻	対前年産	対前年比	陸稲	①/②	
平成25	5,206	76	191	▲40	83%	0.3	5,473	3.5%
26	5,275	90	191	▲1	100%	0.1	5,556	3.4%
27	4,869	109	224	33	117%	0.0	5,201	4.3%
28	4,929	107	250	27	112%	0.0	5,286	4.7%
29	4,764	102	223	▲28	89%	0.0	5,089	4.4%
30	4,656	96	180	▲43	81%	0.0	4,932	3.6%
令和元	4,836	96	174	▲6	97%	0.0	5,107	3.4%
2	4,902	85	183	9	105%	0.0	5,171	3.5%
3	4,795	75	206	23	112%	0.0	5,075	4.1%
4	4,214	77	195	▲11	94%	0.0	4,486	4.3%

資料)農林水産省「農産物検査結果(4年産は令和5年3月31日現在)」
注)ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

水稻もち玄米の等級別検査数量 (単位:千トン)

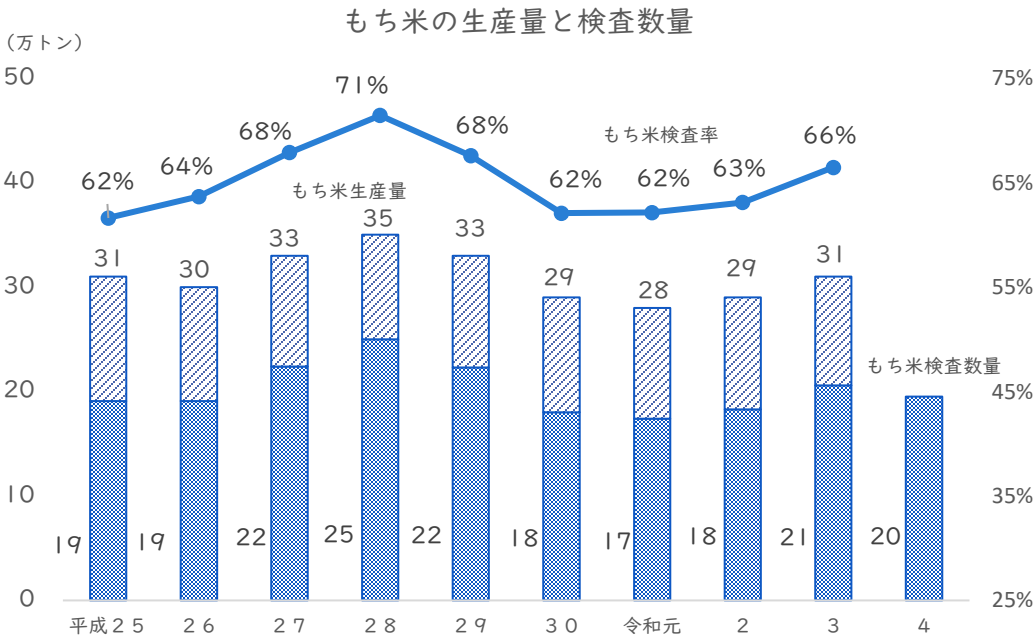
区 分	2年産		3年産		前年産との比較		4年産(R5.3月末)		前年産との比較	
	①	構成比	②	構成比	②-①	②/①	③	構成比	③-②	③/②
水稻もち玄米	183.3	(100%)	206.1	(100%)	22.8	112%	194.7	(100%)	▲11.4	94%
1 等	94.2	51%	121.1	59%	26.9	128%	111.7	57%	▲9.4	92%
2 等	77.0	42%	75.2	37%	▲1.7	98%	73.9	38%	▲1.3	98%
3 等	7.0	4%	5.7	3%	▲1.3	82%	5.7	3%	▲0.0	99%
規格外	5.1	3%	4.1	2%	▲1.0	80%	3.5	2%	▲0.6	84%

資料)農林水産省「農産物検査結果(4年産は令和5年3月31日現在)」
注)ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

もち米の生産量と検査数量(単位:万トン)

年産	もち米生産量①	もち米検査数量②	もち米検査率②/①
平成25	31	19.1	62%
26	30	19.1	64%
27	33	22.4	68%
28	35	25.0	71%
29	33	22.3	68%
30	29	18.0	62%
令和元	28	17.4	62%
2	29	18.3	63%
3	31	20.6	66%
4	未公表	19.5	-

資料)農林水産省「米をめぐる参考資料」、
「農産物検査結果(4年産は令和5年3月31日現在)」



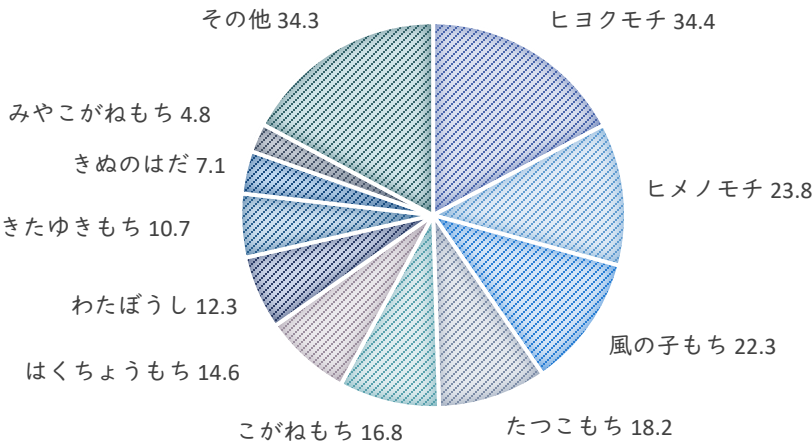
4 もち米の検査(品種銘柄、主産地)

- もち米の品種銘柄別検査数量は、ヒヨクモチ、ヒメノモチ、風の子もち、たつこもち、こがねもち、はくちょうもち、わたぼうし、きたゆきもち、きぬのはだ、みやこがねもちの上位10品種銘柄で約80%を占め、近年、品種銘柄に大きな変動ない。
- もち米の産地別検査数量は、北海道、新潟、秋田、佐賀、熊本、千葉、岩手、山形、宮城、富山の上位10道県で約85%を占め、もち米生産団地の定着等により、主産地に大きな変動はない。

もち米の品種銘柄別検査数量								(単位：千トン)		
区 分	2年産		3年産		前年産との比較		4年産 (R5.3月末)		(参考) 前年産との比較	
	①	構成比	②	構成比	②-①	②/①	③	構成比	③-②	③/②
品種銘柄計	176.0	(100%)	199.4	(100%)	23.5	113%	188.3	(100%)	▲ 11.2	94%
うち、上位10品種	146.6	83%	165.1	83%	18.5	113%	154.7	82%	▲ 10.4	94%
ヒヨクモチ	28.7	16%	34.4	17%	5.7	120%	33.0	18%	▲ 1.4	96%
ヒメノモチ	22.1	13%	23.8	12%	1.7	108%	24.0	13%	0.2	101%
風の子もち	20.2	12%	22.3	11%	2.1	110%	21.5	11%	▲ 0.8	97%
たつこもち	16.8	10%	18.2	9%	1.4	108%	12.3	7%	▲ 5.9	67%
こがねもち	14.3	8%	16.8	8%	2.5	117%	17.3	9%	0.5	103%
はくちょうもち	13.5	8%	14.6	7%	1.2	109%	14.2	8%	▲ 0.4	97%
わたぼうし	10.4	6%	12.3	6%	1.9	118%	12.2	6%	▲ 0.1	99%
きたゆきもち	9.6	5%	10.7	5%	1.1	111%	9.8	5%	▲ 0.9	92%
きぬのはだ	6.2	4%	7.1	4%	0.9	115%	5.6	3%	▲ 1.5	79%
みやこがねもち	4.8	3%	4.8	2%	0.1	102%	4.7	3%	▲ 0.1	98%

資料) 農林水産省「農産物検査結果(4年産は令和5年3月31日現在)」
注1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
2) 4年産は、大規模乾燥貯蔵施設で保管後、令和5年4月以降検査されるもち米もある。

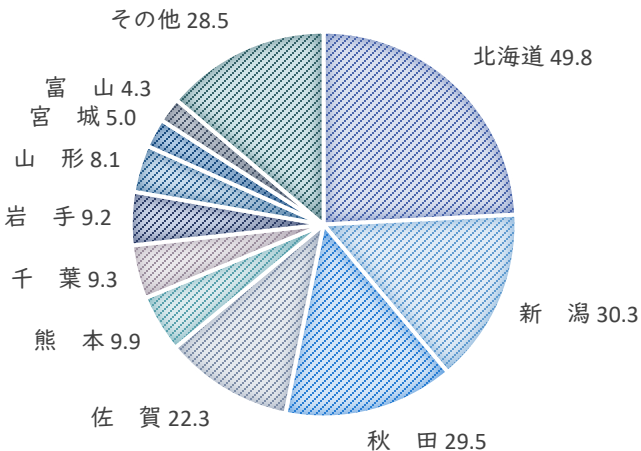
令和3年産もち米品種銘柄別検査数量



もち米の産地別検査数量										(単位：千トン)	
区 分		2年産①		3年産②		前年産との比較		4年産 (R5.3月末)		(参考) 前年産との比較	
		産地	検査数量	産地	検査数量	②-①	②/①	産地	検査数量	③-②	③/②
全国計			(100%) 183.3		(100%) 206.1	22.8	112%		(100%) 194.7	▲ 11.4	94%
順	1	北海道	46.2	北海道	49.8	3.6	108%	北海道	47.4	▲ 2.4	95%
	2	秋 田	26.0	新 潟	30.3	5.3	121%	新 潟	31.5	1.2	104%
	3	新 潟	25.0	秋 田	29.5	3.5	114%	佐 賀	21.7	▲ 0.5	98%
	4	佐 賀	17.5	佐 賀	22.3	4.8	127%	秋 田	21.4	▲ 8.1	73%
	5	岩 手	9.9	熊 本	9.9	0.4	104%	千 葉	9.9	0.7	107%
	1~5計		(68%) 124.5		(69%) 141.7	17.2	114%		(68%) 132.0	▲ 9.7	93%
位	6	熊 本	9.5	千 葉	9.3	1.5	119%	熊 本	9.4	▲ 0.5	95%
	7	千 葉	7.8	岩 手	9.2	▲ 0.7	93%	岩 手	8.9	▲ 0.3	96%
	8	山 形	7.3	山 形	8.1	0.8	111%	山 形	7.6	▲ 0.5	94%
	9	宮 城	4.8	宮 城	5.0	0.2	104%	宮 城	4.9	▲ 0.1	97%
	10	富 山	3.9	富 山	4.3	0.4	110%	富 山	4.0	▲ 0.3	93%
	1~10計		(85%) 157.9		(86%) 177.6	19.7	112%		(86%) 166.8	▲ 10.8	94%

資料) 農林水産省「農産物検査結果(4年産は令和5年3月31日現在)」
注1) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
2) 4年産は、大規模乾燥貯蔵施設で保管後、令和5年4月以降検査されるもち米もある。

令和3年産もち米主産地別検査数量



5 主食用もち米の集荷

- 近年の主食用もち米の全国集出荷団体の集荷数量は約8万トンで、検査数量に対する集荷比率は約40%。
- 令和4年産主食用もち米の集荷の多い産地は、北海道、佐賀、新潟、岩手、熊本、宮城、福岡、岐阜、富山、秋田であり、この上位10道県で90%以上。
- もち米の検査数量に対する近年の集荷率は、佐賀、北海道、岩手では70%以上と高い一方、秋田、千葉では数%と低い。

主食用もち米の集荷数量 (単位：万トン)

年産	生産数量①	検査数量②	主食用もち米集荷数量③	加工用米・新規需要米④	その他②-③-④	主食用もち米集荷率③/②	参考(③+④)/②
平成25	31	19.1	10.6	3.0	5.5	55%	71%
26	30	19.1	9.6	3.5	6.0	50%	69%
27	33	22.4	9.6	4.9	7.9	43%	65%
28	35	25.0	10.4	6.1	8.5	42%	66%
29	33	22.3	9.2	6.6	6.5	41%	71%
30	29	18.0	7.6	5.5	4.9	42%	73%
令和元	28	17.4	7.2	5.1	5.1	41%	71%
2	29	18.3	8.0	5.1	5.2	44%	72%
3	31	20.6	8.7	7.0	4.9	42%	76%
4	未公表	19.5	8.0	7.3	4.2	41%	78%

資料1) 生産量は農林水産省「米をめぐる参考資料」、検査数量は農林水産省「農産物検査結果」
(令和4年産米は令和5年3月31日現在)。
2) 主食用もち米集荷量は全国集出荷団体調べ、加工用米・新規需要米は農林水産省「加工用米生産量」及び「新規需要米の生産量(除く飼料用米)」
注) その他は、生産者直売や生産者自らの加工品製造販売など。

主食用もち米の産地別集荷数量 (単位：千トン)

区 分		4年産①		前年産との比較		3年産		前年産との比較		2年産	
		道県	集荷数量	②-①	②/①	道県	集荷数量	③-②	③/②	道県	集荷数量
全 国 計			(100%) 80.2				(100%) 87.0				(100%) 79.7
順	1	北海道	31.9	▲ 4.3	88%	北海道	36.3	2.1	106%	北海道	34.1
	2	佐 賀	17.2	▲ 0.2	99%	佐 賀	17.5	3.9	129%	佐 賀	13.5
	3	新 潟	6.6	▲ 0.4	94%	新 潟	7.0	0.6	110%	岩 手	7.0
	4	岩 手	6.3	▲ 0.2	98%	岩 手	6.5	▲ 0.5	92%	新 潟	6.3
	5	熊 本	2.7	▲ 0.6	81%	熊 本	3.3	0.2	106%	熊 本	3.1
位	1～5 計		(81%) 64.7	▲ 5.7	92%		(81%) 70.4	6.3	110%		(80%) 64.1
	6	宮 城	2.4	0.1	103%	宮 城	2.4	▲ 0.1	97%	宮 城	2.4
	7	福 岡	2.1	▲ 0.2	93%	福 岡	2.3	0.6	135%	山 形	2.1
	8	岐 阜	1.6	0.1	106%	山 形	2.1	0.0	102%	秋 田	1.8
	9	富 山	1.4	0.1	104%	秋 田	1.5	▲ 0.2	88%	福 岡	1.7
	10	秋 田	1.4	▲ 0.2	90%	岐 阜	1.5	0.1	106%	岐 阜	1.4
	1～10 計		(92%) 73.7	▲ 6.5	92%		(92%) 80.2	6.7	109%		(92%) 73.5

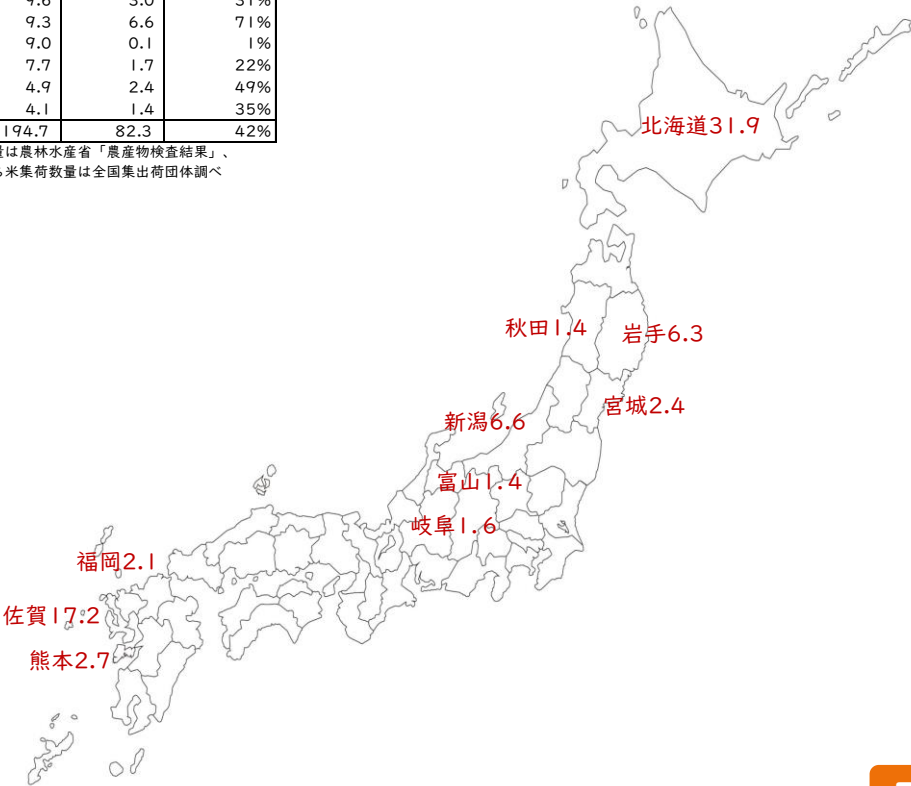
資料) 全国出荷団体調べ
注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 主産地のもち米検査数量に対する主食用もち米集荷数量 (令和2~4年産平均値)

産地	もち米検査数量①	主食用もち米集荷数量②	主食用もち米集荷率②/①
北海道	47.8	34.1	71%
新潟	28.9	6.6	23%
秋田	25.6	1.6	6%
佐賀	20.5	16.1	78%
熊本	9.6	3.0	31%
岩手	9.3	6.6	71%
千葉	9.0	0.1	1%
山形	7.7	1.7	22%
宮城	4.9	2.4	49%
富山	4.1	1.4	35%
全国計	194.7	82.3	42%

資料) 検査数量は農林水産省「農産物検査結果」、主食用もち米集荷数量は全国集出荷団体調べ

令和4年産主食用もち米主産地の集荷数量



6 主食用もち米の契約栽培

- もち米は、その生産や需要の特性により、作付が変動して需給に不均衡を生じ易いことにかんがみ、昭和48年産米以降、全国集出荷団体ともち米需要者団体等の協議に基づく契約栽培を実施。
- 平成17年産米からは、平成15年産米の不作(作況90)を契機として、より一層の安定的なもち米の需要に応じた供給を図るため、3ヶ年を基本とした複数年(播種前)契約を導入。
- これに加えもち米の販売は、もち米集荷が確実な数量から契約栽培数量を差し引いた残数量をもとに契約された「年間契約」と、当用購入等の対応をしている「スポット取引」の3つの方法で取引。
- 契約栽培と年間契約を合わせた契約販売数量は、近年、全国集出荷団体集荷数量の約70%～80%と安定した取引。

もち米契約栽培の推移

(単位：千トン)

年産 契約年		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7
契約栽培 ①	平成23	56.6												
	24	1.8	49.6											
	25	11.5	3.2	48.8										
	26		13.7	6.4	46.1									
	27			7.2	4.3	44.3								
	28				11.0	6.3	50.4							
	29					7.9	3.5	43.4						
	30						6.8	8.0	45.6					
	令和元							6.2	4.8	46.4				
	2								7.5	4.8	48.9			
	3									5.6	3.0	49.3		
	4										4.7	2.2	46.9	
	5											4.3	3.2	47.2
年間契約②		10.1	8.0	8.9	7.6	5.6	1.2	3.8	3.2	1.9	1.7			
①+②		80.0	74.5	71.3	69.0	64.2	62.0	61.4	61.2	58.7	58.3	55.8	50.1	47.2
集荷数量③		106.1	95.6	96.2	103.6	92.5	76.4	72.5	79.8	86.4	80.2			
(①+②)/③		75%	78%	74%	67%	69%	81%	85%	77%	68%	73%			

資料) 全国集出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 令和4年産もち米契約栽培の経過

- 令和2年6月 第1回契約栽培数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
- 3年6月 第2回契約栽培数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
- 4年6月 第3回契約栽培数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
- 10月 第1回年間契約販売数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
11月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
// 第2回年間契約販売数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
// // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)

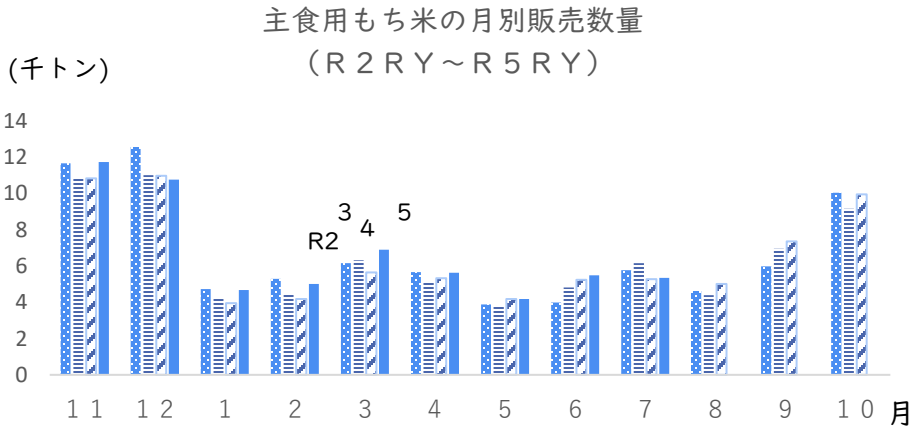
7 主食用もち米の販売・購入

○ 近年の全国集出荷団体の主食用もち米の販売数量は約8万トン。お正月需要に向けた10月～12月の販売数量が多い。都道府県別には大消費地や餅加工製造企業の所在地の東京、新潟などでの販売数量が多い。

○ もち米需要者団体別販売数量(R4RY)は、卸団体約4万トン、餅・加工米飯団体約2万トン、米菓・米穀粉団体約1万トン。

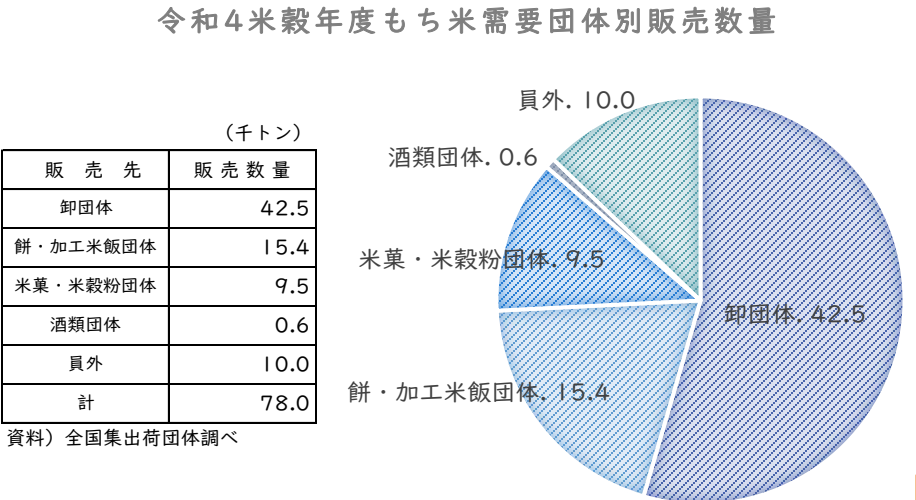
主食用もち米の月別販売数量 (単位：千トン)										
米穀年度 月	令和5米穀年度		4		3		2		元	
	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比
11	11.7	108%	10.8	100%	10.8	93%	11.7	96%	12.2	106%
12	10.8	98%	11.0	100%	11.0	88%	12.6	105%	12.0	91%
1	4.7	118%	4.0	93%	4.2	90%	4.7	118%	4.0	90%
2	5.0	120%	4.2	94%	4.5	85%	5.3	105%	5.0	91%
3	6.9	122%	5.6	89%	6.3	102%	6.2	46%	13.5	160%
4	5.6	106%	5.3	103%	5.2	91%	5.7	107%	5.3	101%
5	4.2	100%	4.2	111%	3.8	97%	3.9	80%	4.8	111%
6	5.5	105%	5.2	109%	4.8	121%	4.0	101%	3.9	79%
7	5.3	101%	5.3	86%	6.2	107%	5.8	130%	4.4	75%
8			5.0	114%	4.4	95%	4.6	101%	4.6	73%
9			7.4	106%	7.0	116%	6.0	108%	5.6	81%
10			10.0	109%	9.2	91%	10.0	61%	16.6	118%
合計	59.8	77%	78.0	101%	77.3	96%	80.4	87%	91.9	101%

資料) 全国集出荷団体調べ (令和5米穀年度は令和3年11月～令和4年7月迄)
注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



主食用もち米の都道府県別販売数量											(単位：千トン)	
区 分		令和5米穀年度		4		3		2		元		
		都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	
全国計			(100%) 59.8		(100%) 77.9		(100%) 77.3		(100%) 80.4		(100%) 90.8	
順	1	東 京	12.3	東 京	17.1	新 潟	19.5	新 潟	20.3	東 京	22.3	
	2	新 潟	10.7	新 潟	15.4	東 京	16.4	東 京	17.1	新 潟	20.5	
	3	北海道	6.4	北海道	10.2	北海道	8.1	北海道	8.5	愛 知	6.1	
	4	愛 知	4.7	愛 知	6.5	愛 知	6.1	兵 庫	5.7	兵 庫	5.6	
	5	兵 庫	4.2	兵 庫	6.0	兵 庫	5.3	愛 知	5.6	北海道	5.5	
位	1～5 計		(64%) 38.3		(71%) 55.1		(72%) 55.5		(71%) 57.3		(65%) 60.1	
	6	神奈川	1.6	神奈川	2.3	神奈川	2.1	神奈川	2.3	福 岡	3.4	
	7	山 形	1.3	熊 本	1.6	佐 賀	1.8	岐 阜	1.8	神奈川	2.6	
	8	熊 本	1.2	岐 阜	1.6	岐 阜	1.7	栃 木	1.7	熊 本	2.3	
	9	栃 木	1.0	栃 木	1.5	栃 木	1.5	熊 本	1.6	富 山	2.2	
	10	岐 阜	1.0	山 形	1.5	山 形	1.3	富 山	1.5	岐 阜	2.0	
	1～10 計		(74%) 44.4		(82%) 63.6		(83%) 63.9		(82%) 66.1		(79%) 72.6	

資料) 全国集出荷団体調べ (令和5米穀年度は令和4年11月～令和5年7月迄の販売数量)
注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。



資料) 全国集出荷団体調べ

8 加工用もち米等の生産・流通

○ 加工米飯、米穀粉、米菓等の用途に供する目的で生産・流通する加工用米のうち、もち米は令和4年産70千トン、令和5年産(計画)73千トンと増加。

○ 小麦等の代替用途用の米粉用、輸出等の新市場開拓用の新規需要米(除く飼料用米)のうち、もち米は令和4年産で3千トン。

加工用もち米・新規需要もち米の生産・流通 (単位：千トン)

制度 年産	加工用米				新規需要米 (除く 飼料用米)				
	うるち 米①	もち米 ②	計③	②/③	うるち米 ④	もち米 ⑤	醸造用 ⑥	計⑦	⑤/⑦
平成 2 5	178	29	208	14%	26	1	0	26	2%
2 6	232	34	266	13%	27	1	4	32	3%
2 7	205	48	253	19%	30	1	7	38	3%
2 8	219	59	278	21%	26	2	7	34	5%
2 9	216	64	279	23%	34	2	7	43	5%
3 0	222	53	274	19%	45	2	0	47	4%
令和 元	204	49	253	19%	48	2	0	50	4%
2	194	49	243	20%	61	2	3	66	3%
3	195	67	262	26%	74	3	2	78	4%
4	201	70	271	26%	80	3	3	86	4%

資料) 農林水産省 加工用米は「加工用米生産量」、新規需要米は「新規需要米の生産量」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 加工用米制度

加工用米とは、お酒、加工米飯、味噌、米菓等、以下の用途に供給することを目的として生産される米穀であり、非主食用として取り扱われ、水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成の対象作物に該当し、10アール当たり2万円の助成を受けることができる。

- ① 清酒、焼酎、その他米穀を原料とする酒類
- ② 加工米飯(肉又は魚、甲殻類、軟体動物その他の水生動物の混入割合が3%以上である密封包装したレトルト米飯、冷凍米飯等であって、2ヶ月以上の保存に耐えられるもの)
- ③ 味噌、その他米穀を原料とする調味料
- ④ 米穀粉、玄米粉、その他これらに類するもの
- ⑤ 米菓、その他米穀を原料又は材料とする菓子
- ⑥ 玄米茶、ビタミン強化米、甘酒、アルファ化米又はアルファ化米を原料とする製品、漬物もろみ、朝食シリアル、乳児食、ライス・スターチ、いり玄米スープ、包装もち、水産練製品及び米穀粉混入製品
- ⑦ その他農産局長が特に必要と認めた用途

加工用米の生産に当たっては、全国生産出荷団体等の加工用米取組主体は、加工用米需要者団体等からの購入計画等を基に作成した「加工用米の生産に係る取組計画認定申請書」を国に提出し、毎年度、その取組計画について認定を受けることとなっている。
なお、加工用米需要者は主食用米からの置き換えて加工用米を使用することは認められていない。

令和5年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況(9月15日現在)

産地	計画生産量(トン)			作付面積(ha)		
	うるち米	もち米	合計	うるち米	もち米	合計
全 国	197,293	72,855	270,148	35,881	12,916	48,797
北海道	25,589	13,042	38,631	4,592	2,328	6,920
青 森	4,580	401	4,981	722	65	787
岩 手	5,591	1,460	7,051	1,014	269	1,283
宮 城	2,388	1,044	3,431	433	193	626
秋 田	26,177	22,090	48,268	4,508	3,756	8,264
山 形	23,974	3,108	27,082	3,983	532	4,516
福 島	2,054	474	2,529	369	79	448
茨 城	4,658	370	5,029	877	70	947
栃 木	8,160	156	8,316	1,482	31	1,513
群 馬	6,993		6,993	1,389		1,389
埼 玉	727	0	727	144	0	144
千 葉	4,387	4,917	9,304	794	879	1,672
東 京						
神 奈 川						
新 潟	22,281	17,234	39,515	3,989	3,104	7,093
富 山	5,157	1,484	6,641	945	275	1,220
石 川	1,961	661	2,622	362	119	481
福 井	1,164	511	1,676	224	98	322
山 梨	345		345	62		62
山 崎	4,259	223	4,482	697	36	733
岐 阜	3,507	5	3,513	739	1	741
静 岡	550		550	105		105
愛 知	2,708	201	2,909	530	43	573
三 重	761	79	840	152	16	168
滋 賀	2,759	393	3,152	532	75	608
京 都	2,784	14	2,798	549	3	551
大 阪	0		0	0		0
兵 庫	3,125	279	3,405	619	55	674
和 歌 山	96		96	19		19
鳥 取	130		130	25		25
島 根	1,280	41	1,321	243	9	252
岡 山	1,529	84	1,613	278	17	295
広 島	1,783	82	1,865	336	15	351
山 口	4,944	91	5,036	958	18	976
徳 島	94	2	96	20	0	20
香 川	238		238	48		48
愛 媛	170		170	34		34
高 知	416		416	84		84
福 岡	628	516	1,143	125	99	224
佐 賀	244	1,959	2,203	48	358	406
長 崎	30		30	6		6
熊 本	1,737	1,823	3,560	323	349	672
分 岐	721		721	148		148
大 宮	9,921		9,921	1,978		1,978
児 島	6,641	109	6,751	1,368	22	1,389
鹿 嶋						
沖 縄	50		50	30		30

資料) 農林水産省「令和5年産加工用米の取組計画認定状況」

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

9 加工原材料米穀の使用状況

- 近年の日本酒、米菓、米穀粉などの加工原材料用米穀の使用量は、うるち米約75万トン、もち米約20万トンと推計。
- 近年、加工原材料用の制度別もち米は、主食用米、加工用米及び特定米穀のほか、MA米や輸入米粉調製品の外国産原材料も 約30%と推計。用途別には、包装もち約8万トン、米菓6万トン、米穀粉3万トン、加工米飯1万トン。

加工原材料用米穀の使用状況（推計）

＜1 うるち米＞								
(単位：万トン)								
制度 用途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉 調製品	制度別計
日本酒	28	13(10)	9		3			25(10)
	29	12(10)	9		3			24(10)
	30	11(9)	9		4			24(9)
	元	11(9)	9		3			23(9)
	2	9(8)	8		3			21(8)
米菓	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
加工米飯 (無菌包装 米飯除く)	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
味噌	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
焼酎 (泡盛含 む)	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
米穀粉	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
その他	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
用途別計	28	20(10)	21	2	21	11	1	77(10)
	29	19(10)	22	2	15	18	2	78(10)
	30	18(9)	21	3	16	16	3	77(9)
	元	16(9)	22	3	18	13	3	76(9)
	2	15(8)	20	3	18	13	3	72(8)

＜2 もち米＞								
(単位：万トン)								
制度 用途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉 調製品	制度別計
包装もち	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
米菓	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
米穀粉	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
加工米飯 (無菌包装 米飯除く)	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
その他	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
用途別計	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19

資料）農林水産省「米に関するマンスリーレポート」、（ ）内は酒造好適米で内数である。
注1）加工用米飯は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯として使用される原料米を含んでいない。
2）焼酎は、単式蒸留焼酎で、泡盛用の原料米を含んでいる。
3）その他には、玄米茶、朝食用シリアル、みりん用などがある。
4）特定米穀とは、水稻收穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。
5）ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

10 米穀粉の生産

- 近年の米菓や和菓子の原料となる米穀粉生産量は約9万トンで、うるち米を原料とする上新粉は約45%、もち米を原料とするもち粉、白玉粉、寒梅粉及びらくがん粉・みじん粉は約20%、新規米粉は約35%
- 米穀粉製造業者29社の令和4年のもち米等原料使用実績は約1万トンで、原料米に占めるもち米使用比率は19%。

米穀粉の生産量

(単位：トン、%)

年	米穀粉計		上新粉		もち粉		白玉粉		寒梅粉		らくがん・みじん粉		だんご粉		菓子種		新規米粉	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成25	90,364	6.4	44,539	1.4	12,538	9.7	4,567	▲1.8	1,249	▲5.7	781	▲8.9	985	19.4	1,906	▲21.5	23,797	22.0
26	88,587	▲2.0	44,062	▲1.1	11,460	▲8.6	4,550	▲0.4	1,516	21.4	860	10.1	858	▲12.9	1,774	▲6.9	23,507	▲1.2
27	94,651	6.8	46,260	5.0	11,583	1.1	4,974	9.3	1,468	▲3.2	1,007	17.1	962	12.1	2,448	38.0	25,949	10.4
28	92,693	▲2.1	46,377	0.3	10,755	▲7.1	4,992	0.4	1,606	9.4	971	▲3.6	1,543	60.4	1,756	▲28.3	24,693	▲4.8
29	94,860	2.3	47,257	1.9	9,592	▲10.8	5,246	5.1	1,535	▲4.4	945	▲2.7	1,166	▲24.4	2,419	37.8	26,700	8.1
30	93,956	▲1.0	45,643	▲3.4	9,663	0.7	4,821	▲8.1	1,534	▲0.1	984	4.1	1,310	12.3	2,506	3.6	27,495	3.0
令和元	91,179	▲3.0	43,345	▲5.0	9,406	▲2.7	4,742	▲1.6	1,560	1.7	1,120	13.8	1,159	▲11.5	2,508	0.1	27,339	▲0.6
2	91,076	▲0.1	40,559	▲6.4	8,280	▲12.0	4,851	2.3	1,485	▲4.8	1,013	▲9.6	1,114	▲3.9	2,528	0.8	31,246	14.3
3	84,964	▲6.7	35,918	▲11.4	8,812	6.4	4,062	▲16.3	1,492	0.5	993	▲2.0	1,016	▲8.8	2,183	▲13.6	30,488	▲2.4
4	92,470	8.8	42,676	18.8	9,683	9.9	4,068	0.1	1,507	1.0	1,008	1.5	1,042	2.6	1,885	▲13.7	30,601	0.4

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」
注) 農林水産省「食品産業動態調査」の原料米使用実績は、各年の調査対象(回答)業者が異なる場合があるため、調査結果の連続性に留意(以下、同様)。

8月8日は、「白玉の日」

Hellow! Siratama Day

★赤ちゃんの離乳食にも最適/
★おいしい・ヘルシー・楽しい白玉

オシャレに食ベニケーション♪

全国穀類工業協同組合

桜餅 (関東風、もち粉、みじん粉、白玉粉、関西風、道明寺粉を使用)
資料) 全国穀類工業協同組合

(参考) 米穀粉製造業の原料米使用実績							(単位：トン、%)		
		令和4年(29社、市場シェア4.4%推計)			平成29年(38社、市場シェア5.5%推計)				
		計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比		
もち米等	計	12,088	417	100.0	14,718	387	100.0		
	民間流通米	2,536	87	21.0	4,927	130	33.5		
	加工用米	4,098	141	33.9	2,881	76	19.6		
	新規需要米	1,334	46	11.0	0	0	0.0		
	その他	1,780	61	14.7	3,751	99	25.5		
	外国産米	1,642	57	13.6	1,820	48	12.4		
うるち米等	輸入米粉調製品	698	24	5.8	1,339	35	9.1		
	計	52,499	1,810	100.0	53,843	1,417	100.0		
	政府米	171	6	0.3	63	2	0.1		
	民間流通米	5,929	204	11.3	8,454	222	15.7		
	加工用米	3,333	115	6.3	4,246	112	7.9		
	新規需要米	12,429	429	23.7	0	0	0.0		
うるち米等	その他	20,349	702	38.8	24,618	648	45.7		
	外国産米	10,237	353	19.5	16,047	422	29.8		
うるち米等	輸入米粉調製品	50	2	0.1	415	11	0.8		

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

米粉の種類と主な製品

	使用原料	種類	用途
生粉製品(ベーター型)	もち米	白玉粉	白玉だんご、救肥、大福餅、しるこ等
		もち粉(求肥粉)	大福餅、救肥、しるこ、最中等
	うるち米	上新粉(米の粉)	だんご、柏餅、草もち、ういろう、かるかん饅頭等
糊化製品(アルファ型)	もち米	寒梅粉	押菓子、豆菓子、干菓子、糊用、工芸菓子
		上南粉みじん粉	和菓子、玉あられ、桜餅、おこし、天ぷら粉用等
		落雁粉	落雁
		道明寺	桜餅、つばき餅、おはぎ餅
	うるち米	みじん粉	和菓子等
		上南粉	和菓子等
		乳児粉	乳児食、重湯用等

資料) 全国穀類工業協同組合「米穀粉」

11 加工米飯の生産

- 加工米飯の生産量は、消費者の食品に対する簡便化ニーズや新型コロナによる家庭食回帰等により約43万トンにと増加。
- 加工米飯製造業者5社の令和4年の赤飯などもち米等原材料用使用量は約2千トンで、原料米に占めるもち米使用比率は21%。

加工米飯の生産量

(単位：トン、%)

年	無菌包装米飯		冷凍米飯		レトルト米飯		乾燥米飯		チルド米飯		缶詰米飯		加工米飯計	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成25	127,749	9.2	155,609	15.6	30,601	20.7	4,124	▲28.8	5,100	20.5	1,048	26.9	324,230	12.7
26	136,092	6.5	160,038	2.8	33,270	8.7	4,687	13.7	5,361	5.1	1,212	15.6	340,660	5.1
27	136,886	0.6	171,501	7.2	30,685	▲7.8	4,493	▲4.1	4,765	▲11.1	1,094	▲9.7	349,424	2.6
28	145,326	6.2	163,017	▲4.9	27,856	▲9.2	5,050	12.4	4,916	3.2	543	▲50.4	346,708	▲0.8
29	161,068	10.8	174,025	6.8	27,807	▲0.2	4,884	▲3.3	4,832	▲1.7	526	▲3.1	373,142	7.6
30	170,218	5.7	181,559	4.3	28,163	1.3	4,832	▲1.1	4,845	0.3	553	5.1	390,170	4.6
令和元	182,797	7.4	178,068	▲1.9	27,474	▲2.4	5,365	11.0	4,520	▲6.7	526	▲4.9	398,750	2.2
2	197,185	7.9	171,307	▲3.8	27,245	▲0.8	4,654	▲13.3	3,894	▲13.8	422	▲19.8	404,707	1.5
3	206,179	4.6	166,099	▲3.0	27,885	2.3	4,825	3.7	3,624	▲6.9	422	0.0	409,034	1.1
4	213,376	3.5	174,158	4.9	32,435	16.3	5,285	9.5	3,245	▲10.5	451	6.9	428,950	4.9

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」



資料) 「全国米穀販売事業共済協同組合(ごはん彩々)ホームページ」

(参考) 加工米飯製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

		令和4年(5社、市場シェア19%推計)			平成29年(10社、市場シェア38%推計)		
		計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比
もち米等	計	1,718	344	100.0	8,216	822	100.0
	国産	1,584	317	92.2	5,478	548	66.7
	民間流通米	135	27	7.8	754	75	9.2
	加工用米	0	0	0.0	1491	149	18.1
	その他	0	0	0.0	493	49	6.0
うるち米等	計	6,355	1,271	100.0	41,744	4,174	100.0
	国産	0	0	0.0	0	0	0.0
	政府米	1,935	387	30.4	28,421	2,842	68.1
	民間流通米	4,420	884	69.6	11,118	1,112	26.6
	加工用米	0	0	0.0	2,171	217	5.2
	その他	0	0	0.0	35	4	0.1

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

(参考)

加工米飯の種類

- レトルト米飯： 調理されたご飯を、空気が入らない密閉容器に入れ、高温加熱殺菌したもので、常温で6ヶ月～1年保存できる。白ごはんのほか赤飯、炊き込みご飯、おかゆ、雑炊などがある。
- 無菌包装米飯： 無菌設備の下、炊きたてのご飯を密閉容器に入れたもので、常温で6ヶ月保存できる。外見はレトルトご飯に似ているが、熱を加えずに包装するので味も良く普通のご飯とほとんど変わらないと言われている。
- 冷凍米飯： 調理したご飯を-40℃以下で急速冷凍したもので、-18℃で1年間保存できる。ピラフ、チャーハン、焼きおにぎりなどがあり、家庭での利用が増えている。
- チルド米飯： 調理したご飯を包装した後殺菌し、利用するまで冷蔵庫で保存するもので、保存期間は2ヶ月くらい。主にデパートなどの食品売場で、出来たてを販売するおこわや赤飯などに利用されている。
- 缶詰米飯： 調理したご飯を缶に詰め、密閉して高温殺菌したもので、3年間保存できる。炊き込みご飯やおかゆなどがあり、非常食としても利用されている。
- 乾燥米飯： 調理したご飯を熱風などで急速乾燥させたもので、常温で3年間保存できる。軽くて持ち運びに便利のため、キャンプや登山、災害用非常食に利用される。

12 米菓の生産

- 近年の米菓の生産量は約21万トンで、もち米を原料とするあられは、その約45%の約9万トンでほぼ横ばい。
- 米菓製造業12社の令和4年のもち米等原料使用実績は約8千トンで、原料米に占めるもち米使用比率は20%。

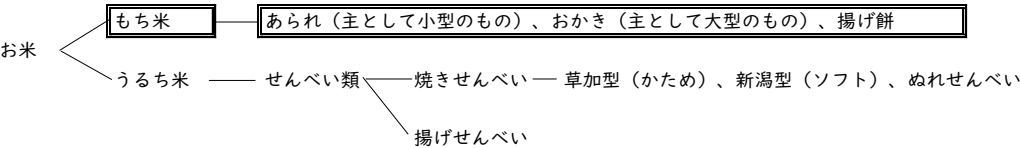
米菓の生産量 (単位：トン、%)

年	米菓		あられ		せんべい	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成25	216,524	▲3.7	91,471	▲5.4	125,053	▲2.4
26	216,676	0.1	93,228	1.9	123,448	▲1.3
27	220,350	1.7	94,995	1.9	125,355	1.5
28	217,687	▲1.2	92,310	▲2.8	125,377	0
29	222,868	2.4	92,200	▲0.1	130,668	4.2
30	221,481	▲0.6	93,504	1.4	127,977	▲2.1
令和元	221,796	0.1	92,259	▲1.3	129,537	1.2
2	219,437	▲1.1	93,506	1.4	125,931	▲2.8
3	214,587	▲2.2	93,836	0.4	120,751	▲4.1
4	212,519	▲1.0	93,674	▲0.2	118,845	▲1.6

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

米菓の分類

米菓とはお米から作ったお菓子の総称となりますが、米菓は原料により製造工程が異なり特徴も違います。
もち米を原料とする米菓を一般的には「あられ」「おかき」といわれ、食感がソフトで、ロどけが良いのが特徴です。
うるち米を原料とする米菓は、「おせんべい」といわれ、様々な食感のものがあります。



資料) 全国米菓工業協同組合「ホームページ」

(参考) 米菓製造業の原料米使用実績 (単位：トン、%)

		令和4年 (12社、市場シェア25%推計)			平成29年 (20社、市場シェア31%推計)		
		計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比
もち米等	計	8,046	670	100.0	19,428	971	100.0
	国内産						
	民間流通米	2,273	189	28.2	5,332	267	27.4
	加工用米	4,019	335	49.9	7,717	386	39.7
	その他	588	49	7.3	2,193	110	11.3
	外国産米	598	50	7.4	781	39	4.0
うるち米等	米穀粉	4	0	0.1	838	42	4.3
	輸入米粉調製品	564	47	7.0	2,566	128	13.2
	計	31,369	2,614	100.0	35,852	1,793	100.0
	国内産						
	政府米	0	0	0.0	262	13	0.7
	民間流通米	6,376	531	20.3	8,049	402	22.5
うるち米等	加工用米	15,554	1,296	49.6	9,325	456	26.0
	その他	3,356	280	10.7	3,518	176	9.8
	外国産米	1,281	107	4.1	5,330	266	14.9
	米穀粉	4,107	342	13.1	7,856	393	21.9
うるち米等	輸入米粉調製品	696	58	2.2	1,512	76	4.2

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」



13 包装もちの生産

- 近年の包装もち生産量は約7万トンで、消費者の食品に対する簡便化ニーズ等により増加傾向。
- 包装もち製造業17社の令和3年のもち米等原料使用実績は約5万トンで、そのうち加工用米28千トン。

包装もちの生産量

(単位：トン)

年	生切り(丸)もち	鏡もち	殺菌切りもち	冷凍もち	板もち	その他	包装もち計	増減率:%
平成25	50,819	6,099	482	282	256	0	57,969	▲0.0
26	52,487	5,263	407	402	100	0	58,660	1.2
27	52,934	5,068	341	516	74	0	58,950	0.5
28	57,665	4,644	381	348	58	0	63,096	7
29	53,343	4,422	445	369	57	0	58,653	▲7.0
30	57,084	4,305	422	429	42	0	62,282	6.2
令和元	58,076	3,881	376	339	49	0	62,721	0.7
2	64,929	3,674	547	152	38	0	69,340	10.6
3	62,620	3,966	527	280	40	0	67,433	▲2.8
4	63,152	3,767	451	314	12	0	67,696	0.4

資料：全国餅工業協同組合調べ

(参考)

包装もちの種類

各種の包装もちは、餅搗きまでの工程（原料米→異物選別→洗米→浸漬→水切り→蒸米→粗ねり→餅搗き）は同様であるが、その後の検査・検品までの工程の違いにより、以下のとおりに分類されている。

板もち：（餅搗き）→計量袋詰→脱気包装→加熱殺菌→冷却→（検査・検品）

殺菌切りもち：（餅搗き）→成型→冷蔵固化→切断→真空包装→加熱殺菌

→冷却固化→袋詰め→（検査・検品）

生切り（丸）もち：（餅搗き）→成型→冷蔵固化→（切断）→（個包装）→袋詰め

→（検査・検品）

鏡もち：基本的には板もちの工程と同様であるが、鏡もちの場合は袋ではなく鏡もち用のプラスチックケースに充填する。

冷凍もち：（餅搗き）→成型→軽く固化→切断→急速冷凍→計量・包装

→（検査・検品）

(参考) 包装もち製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

	令和3年(17社、市場シェア91%推計)			平成28年(17社、市場シェア91%推計)		
	計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比
計	52,897	3,112	100.0	49,873	2,934	100.0
国内民間流通米	23,844	1,403	45.1	28,794	1,694	57.7
国内加工用米	28,372	1,669	53.6	20,430	1,202	41.0
産その他	0	0	0.0	0	0	0.0
外国産米	5	0	0.0	111	7	0.2
輸入米粉調製品	677	40	1.3	538	32	1.1

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

10月10日は「おもちの日」



【国内産水稻もち米100%使用】



資料) 「全国餅工業協同組合」

14 もちの消費(年間購入量)

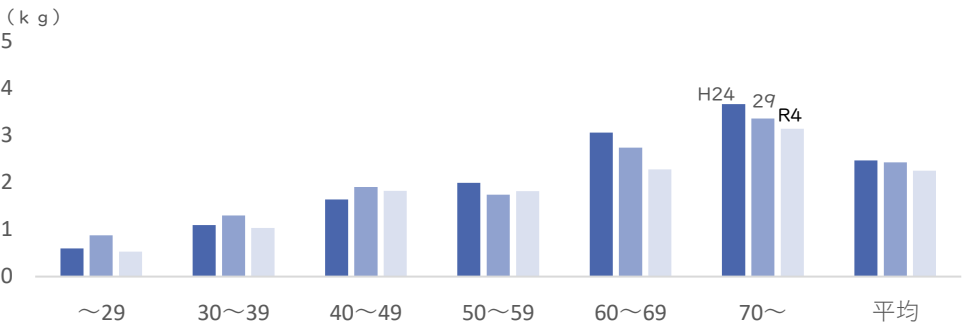
- 一世帯当たりのもちの年間購入量は、令和4年で約2.2kg、支出金額は約1.7千円と過去10年間緩やかに減少。
- 世帯主の年齢階層ごとのもちの年間購入量は、年齢が上がるとともに購入量が多いものの、10年前と比べると、各世代とも減少。

一世帯当たりのもち及び米の年間支出金額、購入量

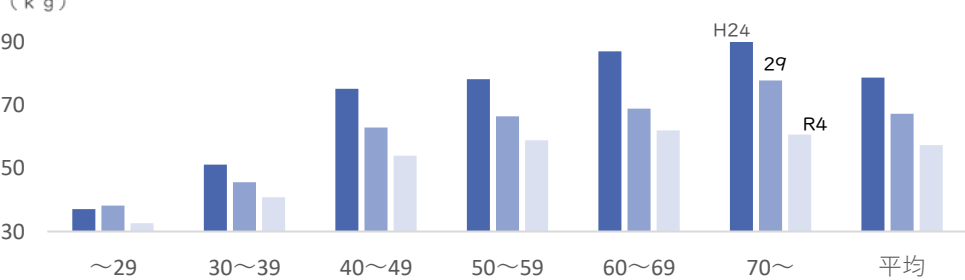
年	平均世帯 人員①	もち支出 金額② (円)	もち購入 量③ (g)	②/③ ×100 (円/100g)	米支出 金額④ (円)	米購入 量⑤ (kg)	④/⑤ (円/kg)
平成24	3.07	1,879	2,460	76.37	28,731	78.78	364.67
25	3.05	1,822	2,437	74.78	28,093	75.17	373.72
26	3.03	1,867	2,432	76.74	25,108	73.05	343.71
27	3.02	1,911	2,417	79.09	22,981	69.51	330.64
28	2.99	1,858	2,459	75.56	23,522	68.74	342.19
29	2.98	1,855	2,423	76.53	23,681	67.27	352.02
30	2.98	1,699	2,250	75.54	24,314	65.75	369.83
令和元	2.97	1,726	2,229	77.45	23,212	62.2	373.22
2	2.95	1,829	2,389	76.57	23,920	64.53	370.71
3	2.93	1,726	2,125	81.23	21,862	60.8	395.55
4	2.91	1,703	2,242	75.96	19,825	57.38	345.49
R4/H24	-	90.6%	91.1%	99.5%	69.0%	72.8%	94.7%

資料) 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」

もちの購入量(世帯主の年齢階層別)



米の購入量(世帯主の年齢階層別)



もち及び米の購入量(世帯主の年齢階層別) (単位: kg)

～29（歳）			30～39	40～49	50～59	60～69	70～	平均
もち	平成24	0.60	1.09	1.63	1.99	3.05	3.66	2.46
	29	0.88	1.29	1.90	1.73	2.74	3.35	2.42
	令和4	0.53	1.03	1.81	1.81	2.27	3.14	2.24
米	平成24	37.15	51.25	75.22	78.28	87.05	90.49	78.78
	29	38.20	45.66	62.92	66.51	68.96	77.90	67.27
	令和4	32.72	40.91	54.06	58.95	62.06	60.69	57.38

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」



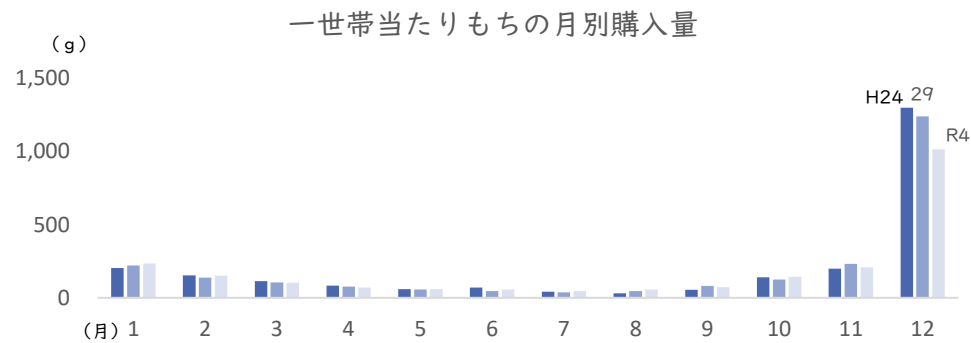
資料) 「全国農業協同組合連合会ホームページ」

15 もちの消費(月別、地域別購入量)

- もちの月別購入量は、お正月に備えた12月の購入が最大で、購入の少ない夏期の20倍以上と季節変動が大きい。
- 地域別購入量は、相模原市、岐阜市、富山市などで多い一方、高知市、那覇市、青森市などでは少ない。

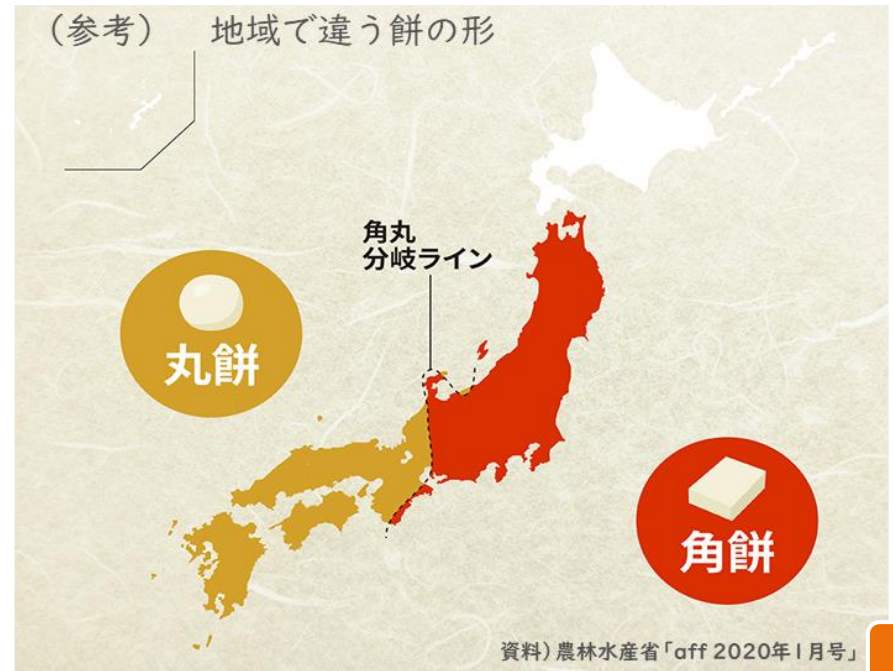
地域別一世帯当たりのもち購入量										(単位：g)	
1 相模原市	3,349	11 名古屋市	2,568	21 仙台市	2,277	30 岡山市	2,086	40 高松市	1,828	50 青森市	1,494
2 岐阜市	3,335	12 川崎市	2,533	22 堺市	2,271	31 神戸市	2,023	41 徳島市	1,815	51 那覇市	1,430
3 富山市	3,109	13 水戸市	2,490	23 長野市	2,258	32 甲府市	1,984	42 鳥取市	1,806	52 高知市	1,249
4 金沢市	3,002	14 さいたま市	2,475	○ 全国平均	2,252	33 盛岡市	1,976	43 大分市	1,779		
5 横浜市	2,748	15 山形市	2,444	24 前橋市	2,227	34 松江市	1,970	44 秋田市	1,695		
6 福井市	2,690	16 東京都区部	2,420	25 北九州市	2,165	35 和歌山市	1,945	45 長崎市	1,686		
7 札幌市	2,617	17 大阪市	2,410	26 新潟市	2,142	36 松山市	1,927	46 佐賀市	1,634		
8 津市	2,606	18 宇都宮市	2,401	27 福岡市	2,124	37 宮崎市	1,862	47 山口市	1,567		
9 千葉市	2,574	19 静岡市	2,400	28 浜松市	2,114	38 鹿児島市	1,835	48 広島市	1,535		
10 京都市	2,574	20 奈良市	2,325	29 福島市	2,113	39 大津市	1,830	49 熊本市	1,501		

資料)「家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング
(2020年(令和2年)~2022年(令和4年)平均)」



一世帯当たりもちの月別購入量													(単位：g)
年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平成24		203	154	114	84	59	70	42	31	55	140	198	1,298
29		222	138	105	77	58	46	37	45	82	124	232	1,239
令和4		235	152	102	69	59	57	46	56	73	144	207	1,014

資料) 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」



16 せんべいの支出金額

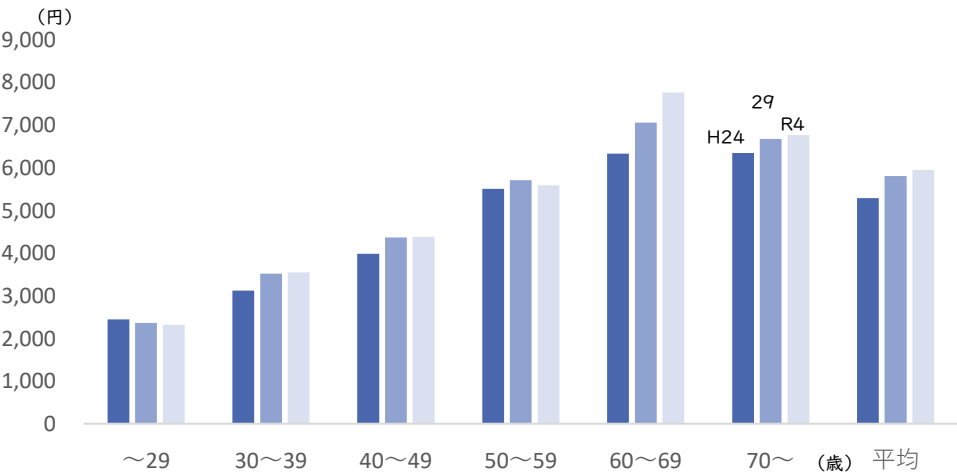
- 一世帯当たりのせんべい(あられを含む。)の支出金額は約5千～6千円で、菓子類支出額の6～7%。
- 世帯主の年齢階層ごとのせんべいの支出金額は、69歳以下世帯までは年齢が上がると支出金額も多い。

せんべいの支出金額				地域別一世帯当たりのせんべいの支出金額																(単位：円)	
	菓子類計①	せんべい②	②/①																		
平成24	77,779	5,287	6.8%	1 水戸市	7,862	11 富山市	6,547	21 さいたま市	5,994	30 大津市	5,560	40 岡山市	4,440	50 鹿児島市	3,766						
25	78,948	5,322	6.7%	2 福井市	7,692	12 岐阜市	6,417	22 名古屋市	5,955	31 鳥取市	5,289	41 宮崎市	4,409	51 熊本市	3,452						
26	80,127	5,680	7.1%	3 宇都宮市	7,629	13 前橋市	6,357	23 仙台市	5,915	32 浜松市	5,091	42 松山市	4,152	52 那覇市	2,208						
27	83,027	5,759	6.9%	4 山形市	7,489	14 東京都区部	6,307	24 静岡市	5,894	33 神戸市	4,991	43 佐賀市	4,009								
28	83,472	5,825	7.0%	5 福島市	7,205	15 新潟市	6,227	○ 全国平均	5,783	34 松江市	4,768	44 広島市	3,989								
29	83,087	5,805	7.0%	6 津市	6,933	16 川崎市	6,212	25 高松市	5,684	35 大分市	4,749	45 福岡市	3,945								
30	83,916	5,757	6.9%	7 奈良市	6,850	17 金沢市	6,203	26 大阪市	5,678	36 札幌市	4,747	46 長崎市	3,915								
令和	87,469	5,869	6.7%	8 盛岡市	6,811	18 長野市	6,172	27 相模原市	5,650	37 北九州市	4,706	47 高知市	3,914								
2	85,534	5,682	6.6%	9 横浜市	6,776	19 堺市	6,034	28 山口市	5,627	38 甲府市	4,636	48 和歌山市	3,842								
3	88,195	5,719	6.5%	10 千葉市	6,630	20 京都市	6,010	29 青森市	5,622	39 秋田市	4,625	49 徳島市	3,822								
4	94,373	5,948	6.3%																		

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」
注) 家計調査の「せんべい」には、米粉又は小麦粉を主原料として焼く又は揚げたものや砂糖、卵、水あめなどを加えたものも含まれ、かきもち、あられ、かわらせんべいなどが含まれている。

資料) 「家計調査(二人以上世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング
(2020年(令和2年)～2022年(令和4年)平均)」

せんべいの支出金額(世帯主の年齢階層別)



せんべいの支出金額(世帯主の年齢階層別) (単位：円)

	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	平均
平成24	2,451	3,124	3,986	5,510	6,331	6,346	5,287
29	2,365	3,521	4,365	5,707	7,057	6,678	5,805
令和4	2,318	3,550	4,385	5,593	7,764	6,766	5,948

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」

(参考) いろいろなあられ



資料) 「全国米菓工業組合ホームページ」

17 令和5年産もち米概算金(生産者価格)

- JA等の集荷業者が生産者の出荷の際に支払う米の概算金は、全農県本部等からJAに提示された概算金を基本としてJA単位で決定されている。
- 業界紙によれば、全農県本部等からJAに提示された令和5年産主食用もち米の概算金は、生産資材・物流費の高騰等により多くの産地で前年産に比べ100円～1,500円/60kg上昇。

全農県本部等からJAに提示された主食用もち米の概算金 (単位：円/60kg、1等、包装消費税込み)

産地	品種銘柄	2年産 ①	3年産 ②	4年産 ③	対前年比 (③-②)	5年産 ④	対前年比 (④-③)
北海道	水稻もち米	12,000	12,000	12,000	0	12,500	500
岩 手	こがねもち (A地区)	12,800	12,000	12,500	500	13,000	500
	ヒメノモチ	12,300	11,500	12,000	500	12,500	500
	もち美人	11,800	11,000	11,500	500	12,000	500
宮 城	みやこがねもち	13,500	13,000	13,500	500	14,000	500
秋 田	水稻もち米	8,000	8,000	8,000	0	8,000	0
山 形	ヒメノモチ	13,500	10,500	10,500	0	11,000	500
福 島	こがねもち	11,500	9,500	10,500	1,000	11,500	1,000
	ヒメノモチ	11,500	9,500	10,500	1,000	11,500	1,000
茨 城	水稻もち米	10,500	9,000	9,000	0	10,500	1,500
新 潟	こがねもち (契約栽培)	16,400	16,400	16,400	0	16,600	200
	こがねもち (契約外)	15,900	12,000	9,000	▲ 3,000	10,500	1,500
	わたぼうし (契約栽培)	14,400	14,400	14,400	0	14,600	200
	わたぼうし (契約外)	13,900	11,000	8,400	▲ 2,600	9,900	1,500
富 山	新大正糯	14,000	13,500	13,500	0	14,200	700
	その他の水稻もち米	13,200	12,700	12,700	0	13,400	700
石 川	水稻もち米	12,000	11,000	11,800	800	12,800	1,000
岐 阜	たかやまもち (A地区)	15,100	15,100	15,200	100	15,300	100
佐 賀	ヒヨクモチ	13,200	12,000	12,200	200	13,000	800

資料) 業界紙等をもとに、全農県本部等からJAに提示された概算金を整理したものである。

米の概算金と追加払いについて

米の概算金決定から追加払いまでの流れ

- 米の概算金は、JA等の集荷業者が生産者の出荷の際に支払う仮渡金であり、県単位で全農県本部・経済連が決定しています。
(地域によってはJA等が買取りしている場合や独自に決定している場合もあります)
- 全農県本部・経済連は販売の見通しが立った時点で、販売見込額から経費・概算金を除いた額を生産者に追加払いしています。
(追加払いの方法は地域によって異なる場合があります)

The flowchart illustrates the process from production to consumption. It starts with '生産者' (Producers) sending rice to 'JA単位協' (JA Unit Association) under the '県段階 (JA系統)' (Prefectural Level (JA System)). From there, it goes to '全農' (All Nippon Agriculture), then to '卸売業者' (Wholesaler), then to '小売業者' (Retailer), and finally to '消費者等' (Consumers etc.). Arrows indicate the flow of rice and the flow of money. A box labeled '概算金' (Estimated Amount) shows the process of paying a '仮渡金' (Advance Payment) to producers at the time of shipment, with a note that the rate is determined by the prefectural JA unit association and the prefectural agriculture and economic union. Another box labeled '相対取引価格' (Relative Transaction Price) shows the process of determining the actual selling price to wholesalers and retailers based on the contract price. A final box labeled '追加払い' (Additional Payment) shows that once the sales outlook is clear, the amount after deducting expenses and the estimated amount from the sales forecast is paid to producers. A red arrow points from this box to a note about requesting early additional payment to the national shipping group by 11/14.

概算金：出荷した際に支払われる仮渡金
(概算金の水準は、各県の全農県本部・経済連が、それぞれ独自に決定。)

相対取引価格：集荷業者から卸売業者等への実際の販売価格 (契約時の価格)

追加払い：販売の見通しが立った時点で、販売見込額から経費・概算金を除いた額を支払い

早期の追加払いを全国出荷団体等に要請 (11/14通知)

18 もち米の契約栽培基準価格等

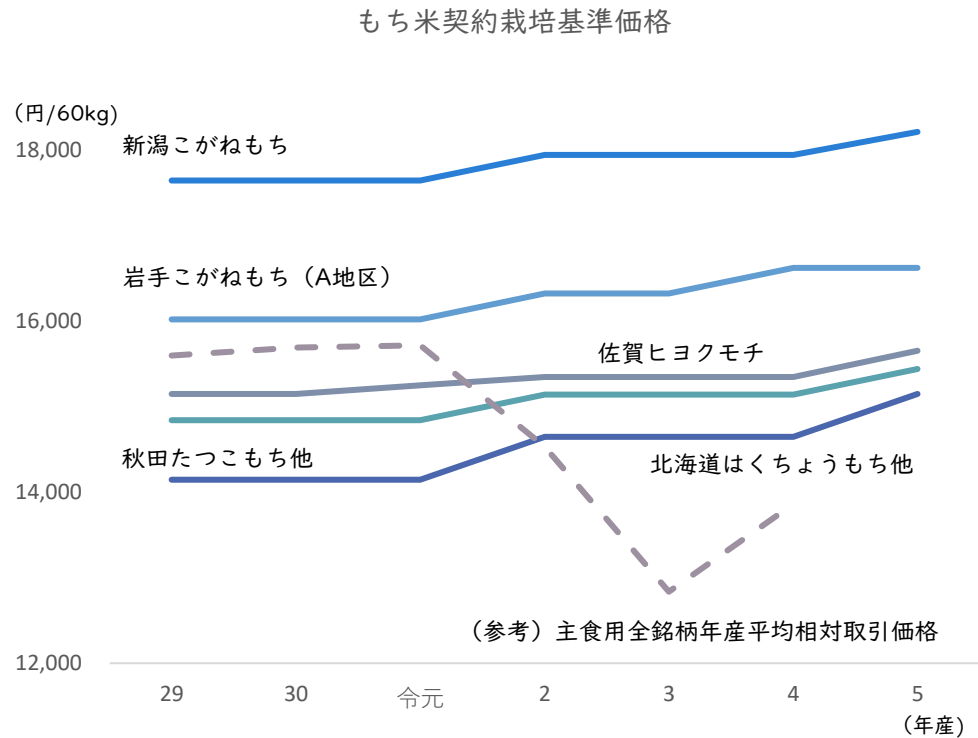
- 主食用もち米の契約栽培基準価格は、全国集出荷団体から収穫年の6月頃、もち米の需給状況等を踏まえて提示されている。令和2年産以降おおむね安定していたが、令和5年産は、各産地とも前年産に比べ約300円/60kg上昇。
- また、契約栽培(販売)に係る実際の販売価格は、出来秋時の作柄や需給状況を勘案し、契約栽培基準価格±5%の範囲内で最終調整(年間固定価格)。
- もち米の集荷が確実な数量から契約栽培数量を差し引いた残数量をもとに契約された年間契約に係る販売価格は、契約栽培基準価格や産地銘柄ごとの契約状況等を踏まえて決定される。このほか、スポット取引に係る販売価格については、需要者との協議により個別に設定。

契約栽培基準価格		(単位:円/60kg、I等、裸、基準着地持込、税別)							
産地	銘柄	基準着地	平成29年産	30	令和元	2	3	4	5
北海道	はくちょうもち・風の子もち・きたゆきもち・きたふくもち	東京	14,146	→ 14,146	→ 14,146	↗ 14,646	→ 14,646	→ 14,646	↗ 15,146
岩手	こがねもち (A地区)	東京	16,020	→ 16,020	→ 16,020	↗ 16,320	→ 16,320	→ 16,320	↗ 16,620
宮城	みやこがねもち (一般地区)	東京	16,433	→ 16,433	→ 16,433	↗ 16,900	→ 16,900	→ 16,900	↗ 17,400
秋田	たつこもち・きぬのはだ	東京	14,840	→ 14,840	→ 14,840	↗ 15,140	→ 15,140	→ 15,140	↗ 15,440
山形	ヒメノモチ	東京	13,940	↗ 14,340	→ 14,340	↗ 14,640	→ 14,640	→ 14,640	↗ 14,940
新潟	こがねもち	東京	17,640	→ 17,640	→ 17,640	↗ 17,940	→ 17,940	→ 17,940	↗ 18,210
岐阜	たかやまもち	大阪	15,640	→ 15,640	→ 15,640	↗ 15,740	→ 15,740	→ 15,740	↗ 16,040
静岡	峰の雪もち	産地在交	14,146	→ 14,146	→ 14,146	↗ 14,346	→ 14,346	→ 14,346	↗ 14,650
福岡	ヒヨクモチ	大阪	15,086	→ 15,086	→ 15,086	↗ 15,206	→ 15,206	→ 15,206	↗ 15,450
佐賀	ヒヨクモチ	大阪	15,146	→ 15,146	↗ 15,246	↗ 15,346	→ 15,346	→ 15,346	↗ 15,650
熊本	ヒヨクモチ	大阪	14,646	→ 14,646	→ 14,646	↗ 14,846	→ 14,846	→ 14,846	↗ 15,010
峰の雪もち		大阪	14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	-

資料) 全国集出荷団体資料

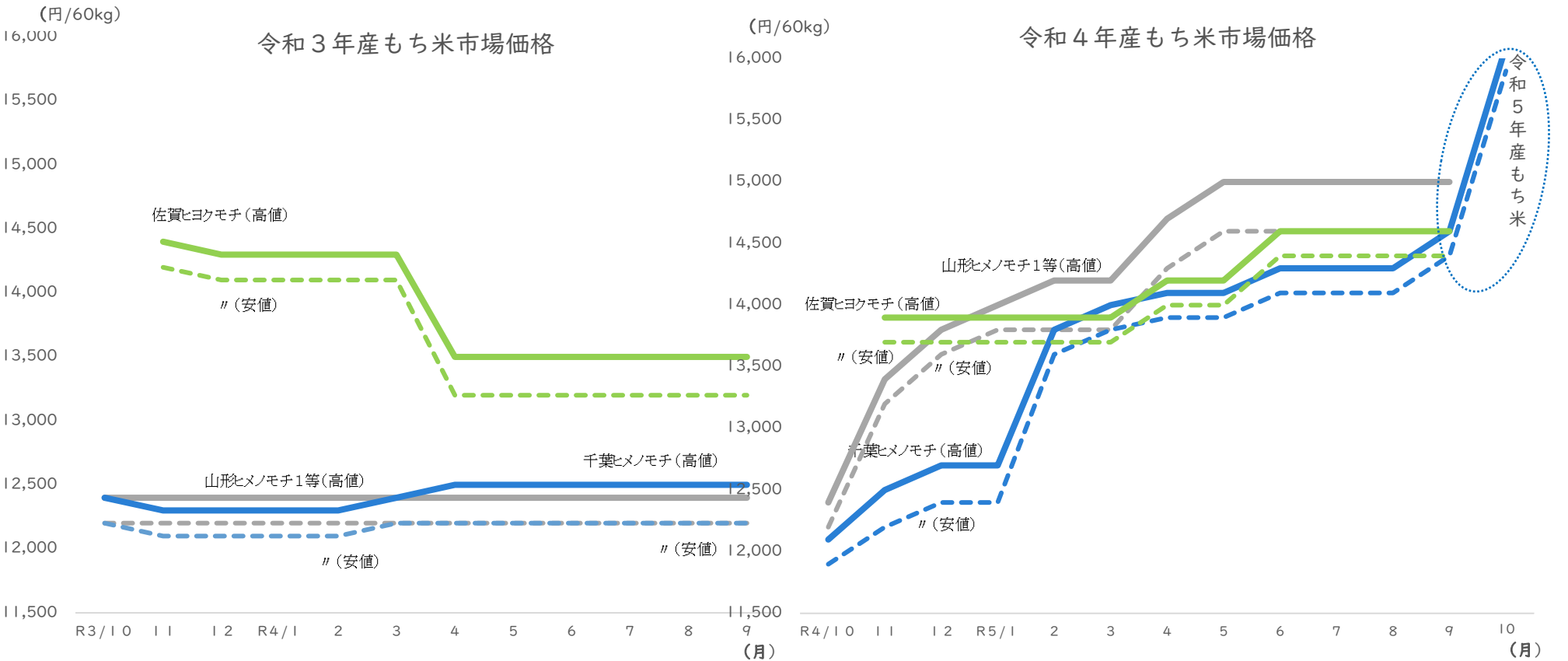
年間契約販売価格		(単位:円/60kg、I等、裸、基準着地持込、税別)							
産地	銘柄	基準着地	平成29年産	30	令和元	2	3	4	5
北海道	はくちょうもち・風の子もち・きたゆきもち・きたふくもち	東京	14,146	-	14,346	↗ 14,846	-	-	-
岩手	こがねもち (A地区)	東京	16,020	→ 16,020	-	-	-	-	-
宮城	みやこがねもち (一般地区)	東京	-	16,433	-	-	-	-	-
新潟	こがねもち	東京	-	-	-	17,590	-	-	-
岐阜	たかやまもち	大阪	-	15,640	15,640	-	-	-	-
佐賀	ヒヨクモチ	大阪	15,140	-	-	-	-	-	-
熊本	ヒヨクモチ	大阪	14,646	-	-	-	-	-	-
峰の雪もち		大阪	14,246	-	-	-	-	-	-

資料) 全国集出荷団体資料



19 もち米の市場取引価格

○ 業界紙による令和4年産もち米の市場取引価格は、生産資材・物流経費の高騰等により、約1,000円～2,000円/60kg上昇し、令和5年産もち米の出来秋期も上昇。



令和3年産もち米市場取引価格

	R3/10	11	12	R4/1	2	3	4	5	6	7	8	9
山形ヒメノモチ1等 高値	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400
山形ヒメノモチ1等 安値	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200
千葉ヒメノモチ1等 高値	12,400	12,300	12,300	12,300	12,300	12,400	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500	12,500
千葉ヒメノモチ1等 安値	12,200	12,100	12,100	12,100	12,100	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200	12,200
佐賀ヒヨクモチ2等 高値		14,400	14,300	14,300	14,300	14,300	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500	13,500
佐賀ヒヨクモチ2等 安値		14,200	14,100	14,100	14,100	14,100	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200

令和4年産等もち米取引価格

	R4/10	11	12	R5/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
山形ヒメノモチ1等 高値	12,400	13,400	13,800	14,000	14,200	14,200	14,700	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	
山形ヒメノモチ1等 安値	12,200	13,200	13,600	13,800	13,800	13,800	14,300	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	
千葉ヒメノモチ1等 高値	12,100	12,500	12,700	12,700	13,800	14,000	14,100	14,100	14,300	14,300	14,300	14,600	16,100
千葉ヒメノモチ1等 安値	11,900	12,200	12,400	12,400	13,600	13,800	13,900	13,900	14,100	14,100	14,100	14,400	15,900
佐賀ヒヨクモチ2等 高値		13,900	13,900	13,900	13,900	13,900	14,200	14,200	14,600	14,600	14,600	14,600	
佐賀ヒヨクモチ2等 安値		13,700	13,700	13,700	13,700	13,700	14,000	14,000	14,400	14,400	14,400	14,400	

資料）米穀業界紙の各月中旬の記事をもとに取りまとめたものである（関東着・トラック配送・消費税抜き）。

資料）米穀業界紙の各月中旬の記事をもとに取りまとめたものである（関東着・トラック配送・消費税抜き）。

注）令和5年9月、10月の千葉ヒメノモチ1等は令和5年産米。

20 もち米等の小売価格

○ もち米やもちの小売価格は都市毎にバラツキがある。全国平均価格はもち米は約550円/kg精米(令和3年)、
 もちは約700円/1kg袋(令和4年)と近年ほぼ横ばいで推移。

もち米小売価格

(単位：円/kg)

区 分		平成30年	対前年比	平成元年	対前年比	令和2年	対前年比	令和3年	対前年比
北海道	札幌市	513	0	518	5	524	6	528	4
青 森	青森市	585	▲22	544	▲41	571	27	562	▲9
岩 手	盛岡市	597	17	559	▲38	618	59	570	▲48
宮 城	仙台市	617	▲6	608	▲9	612	4	641	29
秋 田	秋田市	491	▲24	454	▲37	463	9	452	▲11
山 形	山形市	597	▲13	608	11	627	19	605	▲22
福 島	福島市	628	1	668	40	728	60	667	▲61
茨 城	水戸市	576	6	558	▲18	566	8	560	▲6
栃 木	宇都宮市	509	▲28	514	5	568	54	565	▲3
群 馬	前橋市	487	11	490	3	501	11	494	▲7
埼 玉	さいたま市	627	2	631	4	640	9	640	0
千 葉	千葉市	608	10	587	▲21	585	▲2	596	11
東 京	東京都区部	607	▲9	601	▲6	615	14	628	13
神 奈 川	横浜市	567	▲6	571	4	591	20	600	9
山 梨	甲府市	569	1	572	3	574	2	580	6
長 野	長野市	484	22	546	62	508	▲38	525	17
新 潟	新潟市	563	2	564	1	568	4	565	▲3
富 山	富山市	540	0	548	8	554	6	556	2
石 川	金沢市	605	▲1	588	▲17	591	3	594	3
福 井	福井市	573	2	575	2	578	3	587	9
岐 阜	岐阜市	594	▲9	567	▲27	588	21	580	▲8
静 岡	静岡市	549	▲9	558	9	588	30	584	▲4
愛 知	名古屋市中区	545	4	515	▲30	531	16	531	0
三 重	津市	490	▲3	489	▲1	488	▲1	447	▲41
滋 賀	大津市	682	▲2	680	▲2	639	▲41	666	27
京 都	京都市	584	21	583	▲1	588	5	595	7
大 阪	大阪市	566	▲8	575	9	565	▲10	563	▲2
兵 庫	神戸市	572	2	576	4	556	▲20	553	▲3
奈 良	奈良市	493	▲4	499	6	512	13	505	▲7
和歌山	和歌山市	506	1	501	▲5	526	25	513	▲13
鳥 取	鳥取市	579	▲39	606	27	606	0	539	▲67
島 根	松江市	564	16	539	▲25	547	8	548	1
岡 山	岡山市	502	▲27	506	4	516	10	524	8
広 島	広島市	547	▲10	534	▲13	542	8	560	18
山 口	山口市	491	6	517	26	539	22	542	3
徳 島	徳島市	497	31	504	7	524	20	496	▲28
香 川	高松市	459	2	472	13	503	31	503	0
愛 媛	松山市	510	▲9	495	▲15	502	7	494	▲8
高 知	高知市	605	13	597	▲8	608	11	612	4
福 岡	福岡市	469	▲22	472	3	517	45	516	▲1
佐 賀	佐賀市	523	2	523	0	559	36	565	6
長 崎	長崎市	447	▲14	466	19	522	56	561	39
熊 本	熊本市	509	18	516	7	529	13	513	▲16
大 分	大分市	501	9	507	6	576	69	576	0
宮 崎	宮崎市	522	▲9	528	6	532	4	522	▲10
鹿児島	鹿児島市	492	4	474	▲18	506	32	477	▲29
沖 縄	那覇市	586	▲2	578	▲8	578	0	578	0
参)	全国平均価格	547	2	546	▲1	561	15	557	▲4

資料) 総務省「小売物価統計調査(動向編)」もち米小売価格は、調査対象見直しに伴い令和4年度以降廃止。

注) 都道府県庁所在地都市における国内産もち精米(単一原料又は複数原料米、袋入り(1~2kg))の年平均小売価格である。

もち小売価格

(単位：円/1kg袋)

区 分		平成元年	対前年比	令和2年	対前年比	令和3年	対前年比	令和4年	対前年比
北海道	札幌市	679	▲9	694	15	709	15	697	▲12
青 森	青森市	758	▲9	767	9	742	▲25	700	▲42
岩 手	盛岡市	672	▲7	656	▲16	647	▲9	650	3
宮 城	仙台市	589	▲2	591	2	591	0	591	0
秋 田	秋田市	763	17	736	▲27	728	▲8	707	▲21
山 形	山形市	634	▲47	614	▲20	614	0	599	▲15
福 島	福島市	677	▲5	681	4	679	▲2	669	▲10
茨 城	水戸市	743	▲50	654	▲89	690	36	701	11
栃 木	宇都宮市	770	▲13	740	▲30	735	▲5	727	▲8
群 馬	前橋市	754	14	732	▲22	702	▲30	684	▲18
埼 玉	さいたま市	716	28	726	10	724	▲2	704	▲20
千 葉	千葉市	770	5	773	3	766	▲7	744	▲22
東 京	東京都区部	734	17	743	9	739	▲4	743	4
神 奈 川	横浜市	589	▲67	586	▲3	594	8	566	▲28
山 梨	甲府市	684	▲8	603	▲81	601	▲2	603	2
長 野	長野市	804	32	809	5	809	0	804	▲5
新 潟	新潟市	696	▲26	696	0	697	1	699	2
富 山	富山市	642	5	641	▲1	641	0	641	0
石 川	金沢市	663	▲12	655	▲8	678	23	673	▲5
福 井	福井市	642	▲4	639	▲3	632	▲7	637	5
岐 阜	岐阜市	616	4	614	▲2	612	▲2	643	31
静 岡	静岡市	723	▲6	708	▲15	698	▲10	706	8
愛 知	名古屋市中区	717	13	693	▲24	700	7	696	▲4
三 重	津市	765	13	670	▲95	670	0	697	27
滋 賀	大津市	757	11	737	▲20	717	▲20	735	18
京 都	京都市	650	▲23	637	▲13	663	26	649	▲14
大 阪	大阪市	644	12	631	▲13	627	▲4	648	21
兵 庫	神戸市	675	▲3	678	3	667	▲11	670	3
奈 良	奈良市	649	▲4	632	▲17	617	▲15	612	▲5
和歌山	和歌山市	646	1	646	0	646	0	635	▲11
鳥 取	鳥取市	654	▲19	647	▲7	656	9	661	5
島 根	松江市	806	▲56	814	8	843	29	792	▲51
岡 山	岡山市	753	▲43	717	▲36	717	0	698	▲19
広 島	広島市	709	23	688	▲21	686	▲2	690	4
山 口	山口市	680	▲13	677	▲3	674	▲3	674	0
徳 島	徳島市	716	▲13	726	10	717	▲9	735	18
香 川	高松市	812	▲13	814	2	776	▲38	730	▲46
愛 媛	松山市	708	3	723	15	723	0	695	▲28
高 知	高知市	584	▲3	584	0	582	▲2	582	0
福 岡	福岡市	738	▲11	708	▲30	663	▲45	681	18
佐 賀	佐賀市	717	▲6	724	7	726	2	723	▲3
長 崎	長崎市	701	▲96	664	▲37	696	32	704	8
熊 本	熊本市	784	▲47	744	▲40	733	▲11	678	▲55
大 分	大分市	682	57	591	▲91	605	14	610	5
宮 崎	宮崎市	716	▲40	668	▲48	654	▲14	681	27
鹿児島	鹿児島市	709	11	726	17	726	0	754	28
沖 縄	那覇市	700	332	626	-	651	25	651	0
参)	全国平均価格	702	▲8	687	▲15	684	▲2	680	▲4

資料) 総務省「小売物価統計調査(動向編)」

注) 都道府県庁所在地都市における包装生もち(1kg袋入り、普通品)の年平均小売価格である。

21 もち米の輸入・販売

○ 国によるもち米の輸入・販売は、SBSでアメリカ(短粒種)等から約3千トン、一般輸入でタイ(長粒種)から約7千トン。

○ SBSもち米等の売渡価格は、コメの国際市場動向、為替動向等により変動。

SBSもち米の輸入販売の見積合せ結果

(単位: トン、円/トン)

	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
売渡数量計	5,236	3,466	5,704	4,939	4,426	4,622	3,922	2,212	3,014	1,916
米国もち精米短粒種	4,396	2,418	3,458	3,600	2,976	2,392	2,596	1,732	2,492	1,116
米国もち砕精米	388	724	1,260	700	1,000	940	600	300	300	300
豪州もち精米短粒種	-	-	-	143	-	-	-	-	-	-
タイもち精米長粒種	144	72	72	108	90	90	126	180	222	184
タイもち砕精米	308	252	914	388	360	1,200	600	-	-	316
(参考) 売渡価格(税込)										
米国もち精米短粒種	238,807	223,645	232,377	224,062	245,427	223,571	212,806	221,400	278,640	406,512
米国もち砕精米	138,600	174,960	176,040	168,480	181,313	168,508	172,602	165,421	186,866	245,840
豪州もち精米短粒種	-	-	-	193,762	-	-	-	-	-	-
タイもち精米長粒種	189,000	191,160	210,600	209,520	242,460	209,628	244,620	217,620	227,737	229,500
タイもち砕精米	137,550	145,476	156,276	140,940	145,413	145,980	187,380	-	-	167,400

資料) 農林水産省: 輸入米に係るSBSの結果概要。なお、売渡価格は、各年度の最初の成約時の成約数量に応じた加重平均価格である。

加工原材料用MA一般輸入タイもち精米定例販売

(単位: トン、円/円)

	販売期間	成約数量	加重平均価格		販売期間	成約数量	加重平均価格		販売期間	成約数量	加重平均価格
平成25	4~7月期	2,685	105,140	平成30	4~7月期	2,745	101,209	令和5	4~7月期	2,117	129,410
	8~11月期	3,092	119,752		8~11月期	2,951	113,581		8~11月期		
	12~3月期	3,294	133,758		12~3月期	2,796	113,594		12~3月期		
	年度合計	9,071	-		年度合計	8,492	-		年度合計	2,117	-
26	4~7月期	2,839	126,594	令和元	4~7月期	2,870	111,915	2	4~7月期	1,934	160,315
	8~11月期	3,404	121,089		8~11月期	3,153	124,117		8~11月期	3,132	170,129
	12~3月期	2,782	120,206		12~3月期	2,259	129,744		12~3月期	2,143	139,455
	年度合計	9,025	-		年度合計	8,282	-		年度合計	7,209	-
27	4~7月期	2,882	117,483	2	4~7月期	1,934	160,315	3	4~7月期	2,291	124,893
	8~11月期	2,968	120,978		8~11月期	3,132	170,129		8~11月期	2,114	118,698
	12~3月期	2,929	131,052		12~3月期	2,143	139,455		12~3月期	2,320	110,733
	年度合計	8,779	-		年度合計	7,209	-		年度合計	6,725	-
28	4~7月期	2,910	128,890	29	4~7月期	2,223	100,257	4	4~7月期	2,223	100,257
	8~11月期	3,221	125,005		8~11月期	2,435	116,620		8~11月期	2,435	116,620
	12~3月期	3,158	120,688		12~3月期	1,960	123,588		12~3月期	1,960	123,588
	年度合計	9,289	-		年度合計	6,618	-		年度合計	6,618	-
29	4~7月期	3,071	110,910		4~7月期	2,223	100,257		4~7月期	2,223	100,257
	8~11月期	2,704	112,157		8~11月期	2,435	116,620		8~11月期	2,435	116,620
	12~3月期	2,904	105,684		12~3月期	1,960	123,588		12~3月期	1,960	123,588
	年度合計	8,679	-		年度合計	6,618	-		年度合計	6,618	-

資料) 農林水産省: 加工原材料用米穀の定例販売結果

(参考) 米の輸入制度

- ガット・ウルグアイ・ラウンド合意(WTO協定)に基づき、それまで輸入がほとんど行われていなかったコメについても、最低限の輸入機会を提供することとし(ミニマム・アクセス米(MA米))、1995年度以降、ミニマム・アクセス数量(現在は77万玄米トン)について、無税の輸入枠(関税割当)を設定。
- MA米については、国産米に極力影響を与えないようにするため、国が一元的に輸入して販売(国家貿易)。
- TPP11協定においては、国家貿易制度を維持し、豪州 向け国別枠(関税割当)を設定。
- MA米及びTPP11豪州枠以外の輸入には、高水準の枠外税率を設定。

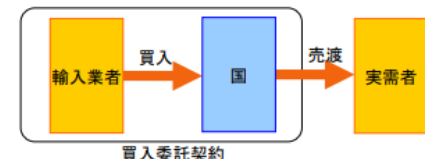
【SBS(Simultaneous Buy and Sell: 売買同時契約)輸入】(MA米のうち最大10万実トン、TPP11豪州枠)



- ① 輸入業者と国内の実需者がベアで国の入札に参加。
- ② 国の売渡価格と買入価格の差(マークアップ)が大きいものから落札。
- ③ 国と輸入業者・実需者(落札ベア)の3者間で特別売買契約を締結。
- ④ 国が輸入業者からの買入れと実需者への売渡しを同時に実施。

⇒ 主に主食用に販売。

【一般輸入】(MA米のうち、77万玄米トン-SBS輸入数量)



- ① 輸入業者が国の入札に参加。
- ② 国と輸入業者(落札業者)が買入委託契約を締結。
- ③ 国が輸入業者から買入れ。
- ④ その後、国が別の入札によって国内の実需者に売り渡し。

⇒ 価格の面で国産米では十分対応し難い加工用、飼料用等の非主食用に販売。

資料) 農林水産省「米をめぐる参考資料」

22 米菓、米粉調製品の輸入

- 米菓の輸入量は、中国、タイ、台湾等から約8千トンで推移していたが、令和4年は約5千トンに減少。
- 米粉調製品の輸入量は、平成25年以降おおむね減少傾向で、令和4年は、タイ、中国、アメリカ、中国等から約5万トン輸入。

米菓の輸入量

(単位：トン)

国	年	令和元	2	3	4	5 (1～8月)
中国		6,188	6,414	6,452	3,679	2,583
タイ		1,225	1,137	1,017	994	686
台湾		493	497	478	502	329
ベトナム		3	1	17	63	4
その他			1	1	4	1
合計		7,909	8,050	7,965	5,242	3,602

資料) 財務省：「貿易統計」

(参考)

米粉調製品は、米粉に砂糖やでん粉を混入したもので、米菓、穀粉、包装もち等の原料として使用される。

米粉の含有量が85%以下のものは、昭和37年から輸入が自由化されており、関税率は16.0%（無糖）、23.8%（加糖）となっている。

なお、米粉の含有率が85%を超えるものは、米と同様の税率（341円/kg）となっている。

うるち、もち別	加糖、無糖別	用途	使用理由
もち米粉	加糖	大福等	製品により砂糖を分離して国内で製造された米粉とブレンドして使用、分離せずに使用の両方
	無糖	切り餅	早く硬くなるので作業時間が短縮
うるち米粉	加糖	団子、柏餅	製品により砂糖を分離して国内で製造された米粉とブレンドして使用、分離せずに使用の両方
	無糖	米菓	澱粉混入品はふくらと焼き上がるソフトに仕上がる

資料) 農林水産省「米粉調製品の輸入実態とその影響（平成13年3月26日）」

米粉調製品の輸入量

(単位：トン)

国	年	平成25年	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5 (1～8月)
タイ		41,006	38,070	33,540	34,784	32,531	31,987	32,257	27,581	29,144	30,172	17,433
アメリカ		21,470	19,160	11,744	13,881	15,142	15,058	13,796	14,852	13,516	11,773	4,602
中国		26,584	29,232	17,028	9,759	11,917	24,112	27,192	28,725	22,099	5,451	5,274
韓国		21	25	93	49	52	30	48	138	180	61	42
オーストラリア		129	151				0	0	510	374	391	459
ベトナム			27	17	18	13	16	14	5	12	5	9
その他		30	19	48	1	24	0	2	0	1	3	1
合計		89,240	86,684	62,470	58,492	59,679	71,203	73,309	71,811	65,327	47,857	27,821

資料) 財務省「貿易統計」

23 コメ・コメ加工品の輸出

○「農林水産物・食品の輸出額を、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とする」国の輸出促進政策の一環として、海外で評価される日本の強みを有し、輸出拡大余地が大きく、関係者が一体となった輸出促進活動が効果的な輸出重点品目（28品目）の一つとして、コメ、パックご飯、米粉及び米粉製品も選定された。2025年の輸出目標額は125億円。

○ 2022年のコメ・コメ加工品の輸出額は613億円（対前年比17%増）、うちコメの輸出実績はアメリカにおいて、干ばつ等によるカリフォルニア産米の価格高騰等により、日本産米のオーダーが増加し対前年比24%増の74億円、米菓は2%減の55億円、日本酒は18%増の475億円、パックご飯は33%増の8億円、米粉及び米粉製品は76%増の1.0億円。

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 品目別輸出目標（11月30日とりまとめ）「コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品」

1. 国別輸出額目標			
国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る
シンガポール	8億円	16億円	・コスト削減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
その他	18億円	22億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
			・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る
			・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開			
<輸出産地数>			
・ 30〜40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する）			
<今後育成すべき国内産地>			
・ 国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地			
<生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>			
・ 輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進			

3. 加工・流通施設の整備			
・ パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援			

4. 品目別団体を中心とした販路開拓			
・ 現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。			
・ 今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携			

コメ・コメ加工品の輸出実績の推移（単位：トン、日本酒数量は和リットル、億円、%）

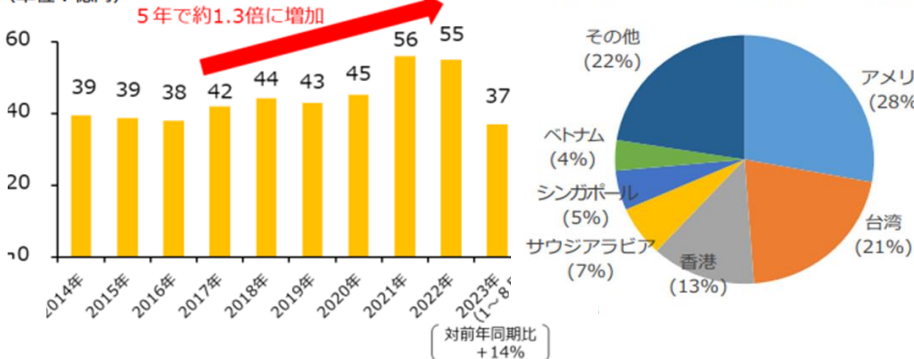
品目名		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		(参考)
						1～8月	対前年比	主な輸出先国
コメ・ コメ加工品	数量 (原料米換 金額	35,531 329	36,569 347	45,959 524	53,931 613	36,395 367	+6 -8	中国 アメリカ 香港、台湾 シンガポール
	コメ（援助米 を除く）	数量 金額	17,381 46	19,781 53	22,833 59	28,928 74	22,602 57	+28 +28
米菓 (あられ・せんべい)	数量 原料米換算 金額	4,033 3,428 43	4,222 3,589 45	5,141 4,370 56	4,523 3,845 55	2,886 2,453 37	+3 +3 +14	アメリカ、 台湾、香港 韓国、中国
	日本酒 (清酒)	数量 原料米換算 金額	24,928 14,041 234	21,761 12,257 241	32,052 18,054 402	35,895 20,218 475	19,103 10,760 266	-21 -21 -16
パックご飯等	数量 原料米換算 金額	1,018 535 5	1,205 634 7	1,129 594 6	1,384 727 8	971 510 6	+5 +5 +17	アメリカ、台湾 香港、韓国 シンガポール
	米粉及び米粉 製品(米粉麺 等)	数量 原料米換算 金額	118 146 0.3	249 308 0.7	88 108 0.6	173 213 1.0	57 70 0.5	-59 -59 -36
コメ・パックご 飯・米粉及び米 粉製品	数量 (原料米換 金額	18,062 52	20,723 60	23,535 66	29,868 83	23,182 63	+27 +26	香港、アメリカ シンガポール 台湾 オーストラリア

資料）農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

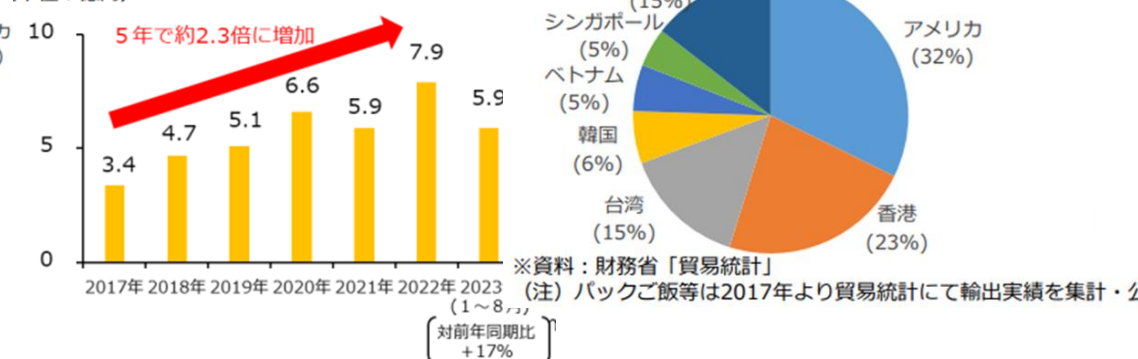
24 米菓・パックご飯の輸出

- 米菓については、2022年の輸出金額・輸出量はともに減少したものの2023年に入り、回復傾向。
また、パックご飯については、2022年の輸出金額・輸出量はともに増加し、2023年も堅調に増加。

● 米菓の輸出実績
(単位：億円)



● パックご飯の輸出実績
(単位：億円)



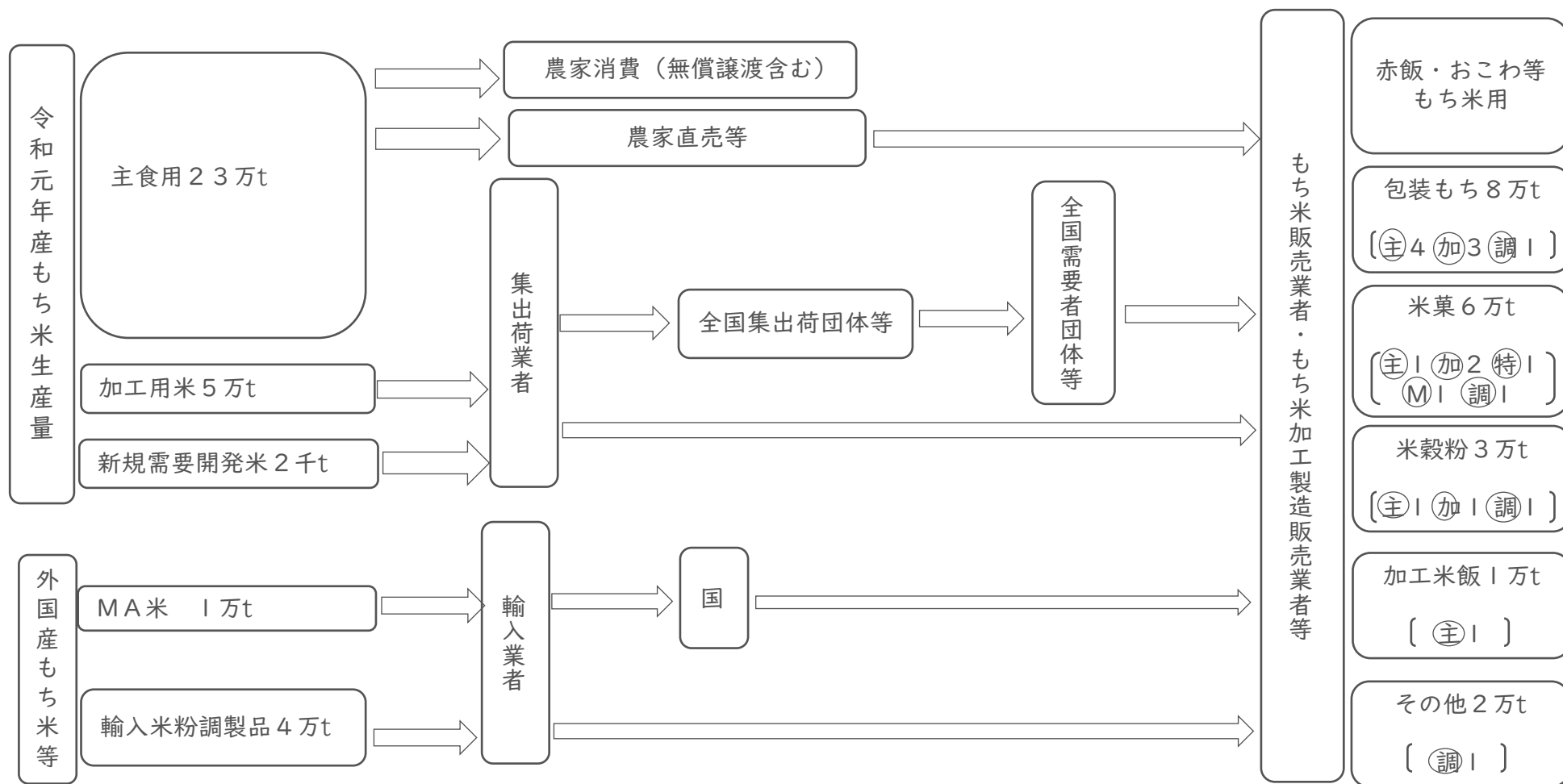
JETRO 農林水産物・食品市場価格調査対象のもち米加工品

	地域	品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
米菓 (あられ)	ロサンゼルス	SHIRAKIKU Norimaki Arare	5oz	3.99	日本	日系	アッパーミドル
	ニューヨーク	小さな角餅 あっさり味	96 g	6.59	日本	日系	アッパーミドル
	パリ	柿の種	93 g	4.45	日本	日系	アッパーミドル
	ミラノ	Kakino Tane 柿の種	182 g	7.96	日本	現地系	ローワミドル
	香港	情熱価格 きね餅 (醤油・塩)	120g/パック	14.90	日本	日系	ローワミドル
	香港	岩塚製菓 田舎おかき (塩・まろやか醤油)	1袋 (9枚入)	22.50	新潟	現地系	アッパーミドル
	香港	亀田製菓 切りもち揚	1パック (100 g)	15.90	新潟	現地系	アッパーミドル
	香港	北越 真昆布 おかき	1パック (9枚入)	27.90	富山	現地系	アッパーミドル
米穀粉	ソウル	柿の種	180 g	4,700.00	富山	現地系	アッパーミドル
	ニューヨーク	義士 白玉粉	150g	4.69	日本	日系	アッパーミドル
	パリ	玉三 白玉粉	200g	7.60	日本	日系	アッパーミドル
	ベルリン	前原製粉 もち粉 Klebreismehl	250g	6.10	日本	日系	ローワミドル
	シンガポール	King 白玉粉 もち粉	200g	7.20	日本	日系	アッパーミドル
	クアラルンプール	白玉粉	250g	21.39	日本	日系	富裕層
包装米飯	香港	TOMIZAWA 道明寺粉 (5割中粒)	300g	52.00	日本	現地系	富裕層
	パリ	ヤマゲン赤飯	420g	10.05	日本	日系	アッパーミドル
	ベルリン	マルちゃん ふっくら赤飯 (160g×3パック)	480g	8.90	日本	日系	ローワミドル
	シンガポール	タカノ 赤飯胡麻塩付け レトルトライス	191.5 g	4.50	日本	日系	アッパーミドル
	シンガポール	テーブルマーク 甘納豆の赤飯レトルト&玄米ご飯レトルト	3個入り	7.40	日本	日系	アッパーミドル
	台北	シーズコア タ香亭 お赤飯 (乾燥お赤飯)	200g	450.00	日本	現地系	富裕層

資料) 独立行政法人日本貿易振興機構「市場価格調査 (2022年12月～2023年3月)」からもち米加工品を抜粋。

（参考） 令和2米穀年度 もち米等の生産・輸入・消費のイメージ

（玄米トン）



資料）令和元年産もち米生産量は、農林水産省「米をめぐる参考資料、加工用米生産量及び新規需要米の生産量（除く飼料用米）」、
外国産もち米等及び包装もち等の用途別・制度別使用量は、農林水産省「マンスリーレポート」
注1）㊦は主食用米、㊧は加工用米、㊨は特定米穀、㊩はMA、SBS米、㊪は輸入米粉調製品。
注2）農家消費、農家直売、集出荷業者直売、赤飯、おこわ等もち米用使用量に関する公表値は無い。